

三世浅草庵黒川春村の門人たち

—— 解題・翻刻『草庵五百人一首』 付、人名索引 ——

石 川 了

一、はじめに

清宮秀堅の『古学小伝』（明治十九年刊）によって、「内藤広前ト都下ニ二人ノ物シリナリ」と評された幕末の国学者・黒川春村はまた、浅草庵市人、大垣守舎と続いた狂歌庵号の三世を継いだ狂歌作者でもあった。その国学分野においてはすでに、玉林晴朗氏「黒川春村と其の著述」（『書物展望』第九卷十二号、昭和十四年十二月）や、柴田久恵氏「黒川春村」（昭和女子大学光葉会「学苑」三〇三号、昭和四十年三月）等の先行研究が備わるのに対し、狂歌分野の研究状況は等閑視されているというに等しい。

そこで近時、浅草庵の代々について述べる機会があった（拙稿「三世浅草庵としての黒川春村」（『隔月刊「文学」』第八卷三号、平成十九年五月）ので、ここにその余勢を駆って資料紹介することとした。

二、解 題

春村編『草庵五百人一首』はその狂歌門人録（後述のように、一部先代の守舎内人も含んでいよう）ともいうべき書で、この分野での広

がりが知られる好資料である。まず書誌から記す。

底本 大妻女子大学図書館所蔵本。

書型 大本（縦二六・九糎、横糎十八・八）三卷三冊。

表紙 原表紙（薄香色無地。直径四・五糎の黄色円形紋散らし）の左肩に、水色地の枠なし原題簽「草庵五百人一首（二三）」。

構成 卷一 五十三丁（漢文序一丁半「序一、序二（表）、和文序二丁「序三、序四」、凡例一丁半「序五、序六

（表）」、目録五丁「一ノ目録初一ノ目録五」、本文

四十二丁「二ノ初一ノ四十二終」。

卷二 四十七丁（目録五丁「二ノ目録初一ノ目録五」、

本文四十二丁「二ノ初一ノ四十二終」。

卷三 四十六丁（目録五丁「三ノ目録一ノ三ノ目録五」、

本文四十一丁「三ノ初一ノ四十一終」。

本文 半丁単位で四周双辺（縦十九・七糎、横糎十四・五）。

板心 「草庵五百人一首 壺印（丁付）」（壺印は、後掲図版の各丁オ左端の柱部分参照）。

序跋 「天保癸巳冬十一月／錦園 天野好之」漢文序と、「千種庵のふた世のあるし／口網諸持」和文序。跋ナシ。

凡例 「天保四年十二月 黒河春村」凡例。

刊記 ナシ

版下 題簽を含めて春村自筆と推定（前掲玉林稿によれば、春村

は叔父の西村藐庵に近衛三藐院流の書を学んだという）。

いささか補足すると、各巻目録は入集者の氏名を掲げ、各下部にその略伝を付す。また各本文は、半丁毎に一人の入集者像（墨印。画者不明）とその詠一首を載せる。つまり巻一と巻二には、それぞれ八十四名が、また巻三には八十二名、合計二五〇名が収録されている。

本書は冒頭に市人、守舎、春村を掲げているから、三代にわたる浅草庵を念頭に編集されており、狂歌集であることは明らかである。その刊行は、漢文序と凡例が天保四年暮れ近くに記されていることからして、翌同五年春のことと思われる。春村は先代守舎が没した天保二年二月二十日の翌月、三月二十日に浅草並木町巴屋にて浅草庵三世の襲名披露を行っている（春村著『壺すみれ』から、精力的な編集だったに相違ない。襲名は時に春村三十三歳のことであった。

漢文序者の天野好之は三谷堯民とも称した漢学者で、和文序者の二世千種庵諸持は初代千種庵ともども春村と親交があった狂歌作者である。二つの序文は春村の伝記資料としても有益であるが、それについては翻刻に直接つかれたい。

興味深いのは、春村自ら記した凡例である。その中に「他門の作者を交へず、社友のかきりをつとへ」たとあり、「拾遺をものせんとす」という。予定の半数しか収録していないから、本書は当初六冊本を予定していたとも思われ、別途本企画以外の拾遺を考えていたのかもしれない。言うまでもなく、すべて狂歌の門人たちが対象である。また画像は「作者の風俗、年齢など、その人といたくたかへるも多かり。こは古風を専らにして、似せ絵にはかゝつらはねはなり」と記しているが、趣や風情は多少なりとも残っているよう。さらに衣冠法衣や器財調度の絵などは、識者の教示を待って僻事を正そうという。まさに国学者としての考証癖を窺わせる。

ところで本書については、茶梅亭文庫主の中野真作氏ご所蔵本を拝見する機会を得た。その巻三末尾には、左の摺物が添付されている。

舌代

五百人一首三巻出来、差上申候。右は先年、発起人故人に相成、かつ近年殊の外、紙払底まで延引いたし、其上子細有之候而、無拠なかは彫刻をも改め、彼是存外の雑費相掛候間、若右等之儀、尤にも被思召候諸君は、定例之外、金式朱宛御入銀希候。尚又四の巻取集の儀は、近々報条を以て御案内申上候。以上。（壺印）

執事

これによれば、後半の三巻三冊は入花による資金繰りが苦しく、編集刊行が滞っている事情が窺い知れる。結局未刊のままに終わったと思われる。また同文中には「右は先年、発起人故人に相成」ともあり、その発起人とは、前述の天保二年二月没の先代浅草庵守舎を指すと思われることから、入集者二五〇名の内には、先代からの壺側（浅草庵代々の門人の総称）メンバーも含まれているとみて間違いあるまい。

その面々を地域的に見ると、東は陸奥国から西は近江国、北は富山から南は伊勢にまで及ぶ。また上野国とその隣国の下野国が目立つのは、先代の守舎が上野国大間々の人だったことに起因しており、その関係もあって春村自身も、数度にわたって上毛に出かけている（前出拙稿）。なお、四世浅草庵の高橋広道が入集していないのが気になるが、広道はこの時まで郷里の尾張国熱田におり、その入門は、二度目の江戸行で東都滞在中の天保六年と思われることを、拙稿「笠亭仙果の狂歌本」（『書誌学月報』第四十三号、平成三年八月）で指摘した。

ところで、本稿末尾の人名索引からも分かるように、入集者にはまた家族や一族で入集している者も目につく。その一々については触れないが、巻一に春村の妹「簀子」、巻二に同妻「綾刀自」がいる。両人の特に像は珍しいと言えるが、綾刀自は残念ながら後ろ姿である。そこで春村の他の編撰書にあたってみると、春村・檜園梅明・千種庵諸持撰『狂歌百才子伝』（天保年間刊。雪鷺画。千蓋庵・千束庵合梓）

の挿絵に見開きの左図があった。向かって右から壺常亭道守、文字楼本成、綾刀自、浅醉庵、青雲亭の五人で、青雲亭以外の四名は『草庵五百人一首』にも入集している。



『狂歌百才子伝』（大妻女子大学図書館蔵）

三世浅草庵黒川春村の門人たち

三、翻刻・人名索引

凡例

- 一、掲載は翻刻、図版釈文、図版、人名索引の順とした。
- 一、図版だけは、巻単位ではなく巻一から巻三まで一括掲載とした。
- 一、原本の丁移りは、その末尾に「(丁付)オ」「(丁付)ウ」の表記で示した。
- 一、和文序、凡例、目録の略伝には、句読点のみを私的に施した。
- 一、漢字はおおむね通行の字体を用いたが、一部原本通りとした。
- 一、目録に掲載された人物には、便宜上001～250までの三桁通し番号を付し、図版釈文、図版、人名索引にもこれを用いて対応させた。
- 一、人名索引では、前項名同上の「同」に、該当前出文字を充てた。
- 一、人名の読みは、一部恣意的におこなった。

【補記】 本稿での翻刻と図版掲載を許された大妻女子大学図書館と、貴重な資料の披見とご教示を賜った中野真作氏に心よりお礼申し上げます。

草庵五百人一首（外題）

狂歌者、和歌之流也。和歌之作、於尚古、雖其体未具、高矣、美矣。爾後詞傑輩出、至称歌中神仙、非後人之所能彷彿也。嬌鶯囀花、悲蟬咽柳、各奏天籁、禽虫微物、所不害己。況万物之靈乎、和歌狂歌豈可偏廢乎。黒川春村江戸浅草里賈人也、少好和歌、兼善狂歌、嘗(序一才)学於浅草庵市人、業已成、讓貲於其弟、留連於風月、逍遙於煙霞、其師逝、高足守舍又没、於是同社咸推春邨為主盟、乃浅草庵第三伝者也。邇者從遊、遐者書問、不而出戸而接海内之人、今茲癸巳、社友相謀、各以狂歌一首、鏤梓、得五百首、可謂富矣、余就先

輩各家狂歌^二而論^レ之、其旨幽、其(序一ウ)韻高、去^三和歌毫髪之間耳、此集之成、使^下天下後世^二觀^中今日之盛^上、不^二無快^一乎、

天保癸巳冬十一月

錦園 天野好之識

印(陰刻) 印(陽刻) (序二オ)

『記載ナシ』(序二ウ)

今は三十とせはかりのむかしにもやなるらん、諸持いと若かりし頃、浅草庵のあるし市人の翁、いまたさかりのよはひにおはして、大江戸ちかきあたりはさらなり、遠き国々よりも名つきおくりて、をしへをうくる人おほく、たはれ歌にとりては、をさく世にかたをならふるものなく、そのよみ口はた、われとひとつのおもふきをたて、かりにもきたなけなる詞などはよみ出られさりしかは、おのつから其姿にならふともからも出こし中に、守舎のうしひとり、すくれてよく翁の(序三オ)心をなん、得られにたりし。さるからにつひには、ふた世のあるしとなりて、猶たえす人々をいさなひたてしほとに、おのれにもいはれけるやう、たはれ歌といはんからに詞のつかひさまなど、むけにつたなからんは、なとかはくちをしからぬ。いかて物しれらむ人の見んにも、はつかしからぬやうにあらはやなど、かたらひあはせられしを、其のちいくとせも過ぎて身まかられたりしこそ、あたらしともあたらしう口をしかりしか。今のあるし春村のうしは、故翁のおはせし時より堪能の聞えありて、世のなりはひしけ(序三ウ)き身ながら、ひと日も怠ることなかりしを、今となりてはひたすらこのすちにのみ心いれて、我もよみ人にもよまするからに、年月にそへて門訪ふ人しけく、かへりてさきくのうしたちにも立こえにたるは、藍よりも青く水よりも寒きたくひとこそ、いふへけれ。此頃其一つのかさきり、ひとりの歌ひとつをぬき出、よみ人のかたちをぬか、せ、すへて世にあまねくもてあそぶ百人一首のおもふきにならひて、板にさへゑらせられしか、五百人の数にみてればとて、やかて五百人一首と

なん、名(序四オ)つけられたる。其歌ともよ、いつれもくあしたにとき、ゆふへにみかける玉のことは、五百つとひをときちらしたらんかごとく、みるめもかやくまでなん。おのれ三世のしる人なれば、これはかにしにことそへよとあるをいなひかたくて、かみのくたり、た、打おもふばかりをしるす。

千種庵のふた世のあるし

口網諸持(序四ウ)

凡例

一 此集、すべて他門の作者を交へず、社友のかきりをつとへにたれと、それはたもれたるも多かなれば、かさねて拾遺をものせんとす。

一 歌は風体をひとしくするため、かつは秀逸をのみ撰むべきなれと、さては初学のきはなどには、病人人あらんもころくるしければ、いかにそや。似かるゝをも強てくはへたるあり。そはおもてふせなるものから、いかゝはせん。(序五オ)

一 作者の風俗、年齢など、その人といたくたかへるも多かり。こは古風を専にして、似せ絵にはかゝつらはねはなり。はた村田元成、谷浜風、池田本蔭などのたくひは、画中の興をあらせんとて、強てことやうに画かゝせられは、みんなあやしもおもふことなかれ。作者のついでには、さらに勝劣あるにあらず。唯着到に順ひたるなり。

一 衣冠、法衣、道服のたくひ、あるは器財、調度やうの物は、新古の製にかゝはらず摸写しつれば、猶僻事(序五ウ)もましらひたるへし。そは識者のをしへをまちてふたゝひ改正すへき、画匠のこゝろまうけなりかし。

天保四年十二月

黒河春村識(序六オ)

『記載ナシ』(序六ウ)

草庵五百人一首卷一

目録

- | | | | |
|-----------|--|-----------|---|
| 001 大垣市人 | 江戸浅草人。通称隆山。号浅草庵、又、都響園、巴人亭、墨用廬、壺々山人。文政三年十二月廿八日没、年六十六。 | 016 森 広蔭 | 同郷人。森鶴村男。通称庄兵衛。号壺松楼、又、櫛園。武蔵川崎人。住江戸八丁堀。通称丘隅。号浅楽庵、又、桐斎。 |
| 002 同 守舎 | 上野大間々人。通称新兵衛。初号浅茅庵、後継浅草庵号。来住江戸浅草。一号都響園。天保元年四月四日没、年五十四。 | 017 田中鳳管 | 近江市原人。通称治兵衛。号壺俵園。富山侯臣。住江戸下谷邸。通称友之丞。号浅秀庵、又、芦鶴亭、雲我堂。 |
| 003 黒河春村 | 江戸浅草人。通称治平。初曰、本蔭、後継浅草庵号。一号随日園、又、都草園、壺々亭、葵園、薄斎。 | 018 奥居庫住 | 江戸駒込真浄寺主。作名鳳洲。号竹実園。天保五年七月三日寂、年三十四。 |
| 004 土屋千元 | 江戸湯嶋人。通称彦太郎。号浅桂園、又、楹亭、桂屋。天保五年五月六日没、年二十二。 | 019 多賀長住 | 上野館林人。通称勝治郎。号浅櫛庵、又、柏園、七柏斎。 |
| 005 茗溪法師 | 江戸本郷等正寺主誠応。号浅醉庵、又、枕書堂。 | 020 権律師賢瓊 | 富山侯臣。即住富山。通称滋右衛門。号壺海楼、又、玄花亭。 |
| 006 沙弥鵠林 | 越中富山人。住江戸下谷。作名三千尋。号北溟舎、又、牧斎。(二ノ目録初才) | 021 新嶋高村 | 上野大間々人。通称嘉吉。号六蔵亭。文政九年七月八日没、年二十一。 |
| 007 柴山国村 | 下野中嶋人。通称五郎。作号壺春園、又、春融園、東野亭。 | 022 中村北麿 | 下総桜井人。通称喜右衛門。号浅波庵、又、都曲園、大漁父。(二ノ目録二才) |
| 008 津田琴繁 | 木幡侯臣。住江戸浜町邸。通称左門。号壺嘯楼、又、春鶯園。 | 023 小森守冬 | 上野原郷人。通称七左衛門。号浅原庵、又、壺薄園、鯉月窓。 |
| 009 梶 子 | 松々園室。号春宵園、又、静寝園。 | 024 向後河鳥 | 上野白井人。通称孫兵衛。号浅貢府、又、啓迪舎、外石子。 |
| 010 春恵法師 | 等正寺法嗣宮内卿。号翠草庵、又、白蓋堂。 | 025 星野糸成 | 同国同郷人。宮下道守猶子。通称半兵衛。号都光園、又、謙斎、玉蓮。 |
| 011 権律師了明 | 江戸下谷福成寺主。作名有隣。号浅池堂、又、壺柳園、観蓮子。 | 026 宮下為業 | 同国同郷人。通称六兵衛。号壺醪亭、又、藤花園。 |
| 012 栄 子 | 浅池堂室。号春花園、又、池陽堂。 | 027 同 梅侯 | 同国前橋人。通称善八。号壺丈楼、又、東辺舎。天保五年六月廿九日没、年六十。 |
| 013 宮下道守 | 上野白井人。住江戸本町。通称範平。号壺常亭、又、無玄斎、宮明遠。 | 028 植木守斗 | 同国白井人。通称儀八郎。号浅川庵、又、壺涼亭。 |
| 014 小相百枝 | 江戸浅草人。通称甚兵衛。号春翠園、又、都北園、霜後園。 | 029 関口一岱 | 武蔵和戸人。通称元祐。号壺英堂。 |
| 015 勝田福寿 | 同郷人。通称三平。初曰、守路、号壺業亭、又、春栄 | 030 浅川友乗 | 江戸中橋人。通称儀兵衛。号浅月堂、又、都錦園。天 |
| | | 031 篠原菊麿 | |
| | | 032 北出春人 | |

三世浅草庵黒川春村の門人たち

保三年十二月二日没、年六十六。

033 大矢都水 越後柏崎人。通称栄吉。号壺松斎。(一ノ目録二ウ)

034 片桐北塙 同国小野人。通称錦吉。号寒月楼。

035 柴山草村 下野中嶋人。通称吉兵衛。号壺秋園、又、秋香亭、七種園。

036 野口雪村 同国同郷人。通称富五郎。号壺冬園、又、冬嶺亭。

037 林 女 常陸小栗人。中原某妻。号春綾園。

038 池田一瓶 上野津久田人。通称権兵衛。号浅馨庵、又、水酉子、鸞斎。

039 品川夢成 同国原郷人。通称英五郎。号壺礎楼、又、船遊子、手枕亭。

040 江利川守枝 同国前橋人。通称勘兵衛。号壺梅園、又、綴玉子。

041 室田守郷 同国館林人。通称宗治郎。号浅生庵、又、東感庵。

042 蓑 子 黒河春村妹。号菅園、又、少々妻廼屋。(一ノ目録三才)

043 星野竜海 上野桐原人。通称兵内。号浅茅庵、又、曲々亭、金華苑。

044 新井秋住 同国高瀬人。通称又太郎。号浅哲庵、又、白雲堂、律調子。

045 同 守村 新井秋住男。通称勇七。号壺高窓、又、倭文家、白葉、白風園。

046 橋本高広 同国下新田人。通称亀吉。号壺昶園、又、茅虹園。

047 下田疇成 同国田嶋人。通称兵内。号山田舎。

048 佐藤宣洲 同国岩戸人。通称駒之丞。号壺潭楼、又、茅水園、麗沖子、花鏡亭、冰踊斎、愛滝楼。

049 柳沢春秀 同国大竹人。通称宗三郎。号壺竜園、又、清耀館、永齡舎、鶴庵、玉椿亭。

050 村田元成 江戸吉原京町人。通称市兵衛。家名大文字屋。号文字楼、又、加保茶園、花街楼、柿園。

051 高橋守的 上野鹿田人。通称忠蔵。号壺翼園、又、馬見岡。(二ノ目録三ウ)

052 石原豊村 同国桐原人。通称伊兵衛。号春節園。

053 高野梅正 陸奥大久保人。通称仙右衛門。号浅薰庵、又、壺笠楼、東始園、祥斎。

054 角田秋久 上野原郷人。通称久五郎。号茅星園。

055 吉田芳季 陸奥川俣人。吉田吉利男。通称利兵衛。号浅畝庵、又、東壺園、亀屋、不酔、人哄堂。

056 斎藤昌二 同国同郷人。通称庄治郎。号浅永庵、又、伊達庵。

057 吉田長季 同国同郷人。吉田吉利二男。通称孫兵衛。号浅寿庵、又、壺祥亭。

058 八卷舎住 同国羽田人。通称文右衛門。号浅鶏庵、又、鶏廼屋、淳朴園、東鶏夫、宝田園。

059 渡辺合瀬 同国川俣人。渡辺光俊男。号隈水子、又、之通観。

060 同 浦風 同国同郷人。通称宗七郎。号壺濤園、又、東五園。(二ノ目録四才)

061 大橋伊呂泥 尾張名見屋人。通称松蔵。号壺艷楼、又、逸庵。

062 栗原長秋 常陸上野人。通称永三郎。号壺栗園、又、菅居、桂園。

063 黒田豊秋 下総山王人。通称昌庵、号壺稻園。

064 一 元 江戸吉原京町。文楼遊女。

065 浅 茅生 同楼遊女。

066 菅野歌都住 陸奥飯野人。通称逸之助。号浅栄庵、又、壺街楼。

067 大口安長 尾張名見屋人。通称安治郎。号壺柴楼、又、檜扇屋、千春園。

068 石河金由 同国同郷人。通称徳蔵。号陽玉園。

069 三原春繁 出羽米沢人。通称甚兵衛。号連葉庵、又、樂盞亭、魚屋。(二ノ目録四ウ)

070 近 春住 米沢侯臣。即住米沢。通称弥治兵衛。号壺楽亭、又、柳々館。

071 中嶋岸住 上野高津戸人。通称儀兵衛。号壺風楼。
 072 池田守崎 同国横室人。通称安五郎。号壺征楼、又、三浦軒。
 073 山本春好 下総笹川人。通称堅蔵。号董菜園。
 074 仁科守久 福嶋侯臣。即住福嶋。通称忠兵衛。号浅梢庵、又、翠松園、篤廼門。
 075 大友桐麿 上野横室人。通称金蔵。号壺絃楼、又、三五亭。
 076 儀野茂村 富山侯臣。即住富山。通称勇馬。号白雀亭。
 077 松川富門 陸奥三春人。通称喜代之助。号壺勝園、又、春秋亭。
 078 梶山守海 上野大間々人。通称源助。号茅露園。(一ノ目録五才)
 079 武田夏海 陸奥八丁目人。通称栄吉。号浅縑庵、又、器水園。
 080 丹沢折鶴 同国同郷人。通称八十郎。号浅舞庵、又、壺遊亭、水長舎。
 081 春阿法師 江戸下谷宗善寺主竜海。号月庵、又、松々園。
 082 道 子 多賀長住妻。号春邑園。
 083 土屋光村 土屋千元弟。通称兼治郎。号有梅庵。
 084 有坂光隆 江戸鳥越人。通称蹄斎。
 右(一ノ目録五ウ)

〔図版釈文〕
 001 大垣市人 野も山もあつめてきつる梅かゝを
 いかていれけんまとの春風(一ノ初才)
 002 大垣守舎 なにひとつなしもはたさて年のはて
 しはすのはてとなりけるかな(一ノ初ウ)
 003 黒河春村 この国のものなりなからふしのねの
 なかははくものうへにありけり(一ノ二才)
 004 土屋千元 梅うゑて鶯またん松たてゝ
 まてはかならずはるはきにけり(一ノ二ウ)
 005 茗溪法師 ゆふ闇にまよはてかりのいそくかな
 こし路の雪やしろくみゆらん(一ノ三才)

006 沙弥鵲林 さく花にうき雨風はをみなへし
 いつらのほかのさはり也けり(一ノ三ウ)
 007 柴山国村 この葉のしけき林に迷ふわか
 みちしるへせよ夏虫のかけ(一ノ四才)
 008 津田琴繁 あたらけきみやこは寒き山さとに
 さきおくれけり雪のはつ花(一ノ四ウ)
 009 梶 子 秋はあれと霞のおくにほのみえて
 こゝろにくきははるの夜の月(一ノ五才)
 010 春恵法師 ふりならず手さへふるへてれいよりも
 ことしはさゆる雪の山寺(一ノ五ウ)
 011 権律師了明 青柳のさえたつたひて山つゝら
 かゝるふるすやしのふうくひす(一ノ六才)
 012 栄 子 ゆふ月の光もすゝし隅田川
 のりてあそはんをふねならねと(一ノ六ウ)
 013 宮下道守 まれにあふこよひをはれと粧ふか
 ひかりさやけきひこほしのかけ(一ノ七才)
 014 小梶百枝 袖笠は日のまはゆさにかつきけり
 末野のしくれ遠くみやりて(一ノ七ウ)
 015 勝田福寿 いろも香もいまをさかりの家さくら
 風の神たにたゝらさりけり(一ノ八才)
 016 森 広蔭 ひとりねのねさめにとりのこゑきけは
 うらみし夜こそこひしかりけれ(一ノ八ウ)
 017 田中鳳管 さえかへる風をいた戸のすきまより
 いさなふかけはさふし春日も(一ノ九才)
 018 奥居庫住 うくひすのさへつるいきか梅かえを
 ふきこしてくる風のゝとけさ(一ノ九ウ)
 019 多賀長住 こゝのへのうち野にさけるふちはかま
 ゆかしや露のぬきしろにして(一ノ十才)
 020 権律師賢瓊 照月の光をきよみむらからす

021 新嶋高村	うかれ出てなくかすもみえけり（一ノ十ウ） さらてたにほりかねの井をふるゆきの うつみに埋むむさし野の原（一ノ十一オ） ふりつる雪の中道行わひて	035 柴山草村	はし鷹の尾ふさを遠みをすゝきの かれのこるやと御狩野の原（一ノ十八オ） 手入せぬ野もりか庭も滝おとし 水はしらするゆふたちの雨（一ノ十八ウ） しらきくのうつろひぬへくおく霜に うたて匂はぬ花咲にけり（一ノ十九オ） 君により千名に五百名に名はたちぬ 世にかすならぬわか身なからも（一ノ十九ウ） 蜘蛛らははらひもすてんまつよひに こぬをしらする雨のいとすち（一ノ二十オ） ひとかとはあれやとそおもふ人みな わたりかてなる丸木橋にも（一ノ二十ウ） 驚よやとりわするなゆふ暮は 梢もことにかすむ梅かえ（一ノ二十一オ） かたふかは我もねなんと思ふまに なかき夜なからありあけの月（一ノ二十一ウ） しは人のほかはふませし初みゆき 庭よりつゝく山のしろたへ（一ノ二十二オ） よしの山花ちる春の雪ならて しろき嵐そ松に寒けき（一ノ二十二ウ） 春はたゝ花多かれと思ふにも 門にはまつを立ならへけり（一ノ二十三オ） なゝくさのたからのたまかなゝ草に おきそふ露そひかりことなる（一ノ二十三ウ） うつみ火にかたりあかしつおもふとち さふさも用のこともわすれて（一ノ二十四オ） みしか夜の月のなかめは暁の 雲にあはぬをしまれにけり（一ノ二十四ウ） 朝かほのはなにはかなくみしつゆも
022 中村北麿	かへり見すればわかあともなし（一ノ十一ウ） 山人もいまたきかしとおもふまで こゑめつらしきほとゝきすかな（一ノ十二オ） よし野山しみつなかるゝさくらかけ しはしといはて人は住けん（一ノ十二ウ） 淡路嶋かよふちとりのこゑならて 栄花の夢をさますひよとり（一ノ十三オ） 仙人のかふ手になるゝあしたつも ちよとおもひてよろつ世やへん（一ノ十三ウ） 清滝のせゝのしらいとえてしかな 涼しき夏のころもおるへく（一ノ十四オ） みすゝかる信濃は国もたかしとて 雲井にひくかもち月のこま（一ノ十四ウ） 我にあらしたれよふことりたひ路きて みなれぬ山にきゝなれぬこゑ（一ノ十五オ） たかうゑしまかきのきくそゆふ霧の ひまよりあまたほしのみゆるは（一ノ十五ウ） 紫はうつりやすきをこゝろして しつえかゝけよ萩かはなつま（一ノ十六オ） 水に住かたわれ月のかたゝゝも おのか友とやかはつなくらん（一ノ十六ウ） 銀河もしをし鳥の瀬にすまは たなはたつめはねたくこそみめ（一ノ十七オ） 秋の夜の月はこし路もさやけしと 都につてよ天津かりかね（一ノ十七ウ）	036 野口雪村	
023 小森守冬		037 林 女	
024 向後河鳥		038 池田一瓶	
025 星野糸成		039 品川夢成	
026 宮下為業		040 江利川守枝	
027 宮下梅侯		041 室田守郷	
028 植木守斗		042 簀 子	
029 関口一岱		043 星野竜海	
030 浅川友乗		044 新井秋住	
031 篠原菊麿		045 新井守村	
032 北出春人		046 橋本高広	
033 大矢都水		047 下田疇成	
034 片桐北塙		048 佐藤宣洲	
		049 柳沢春秀	

050 村田元成	きくにしおけはともにめてたし（一ノ二十五オ） 花もみすゆきしこゝろのおろかには 似あはてかりの秋を忘れ（一ノ二十五ウ） 袖ふれてちらせはまたもおきかふる	064 遊女一元	天の川このゆふ月のかたふくは 君をわたしてかへるふねかも（一ノ三十二ウ） みたれてもむすほられても片いとの よりこそあはね君はつらくも（一ノ三十三オ） ふしといふなかもあらすはいかはかり ゆきうからまし東路の旅（一ノ三十三ウ） 花にあかてかへりしときのかなしさを 思出てやかりのなくらん（一ノ三十四オ） 久かたのそらもきよらにあけ初ぬ わかみつくみていはふあしたは（一ノ三十四ウ） ふりつみてまことの雪のしろき夜は まかひし月のかけそをくらき（一ノ三十五オ） かけうつるそこさえ匂ふ山の井の あかていくかも花にあそはん（一ノ三十五ウ） 花もみちみやひこゝろもあらぬ身は さつ矢たはさみ山暮しつ（一ノ三十六オ） かなたにはまたれこなたにをしまれて 山のかひにや月のいさよふ（一ノ三十六ウ） 八重匂ふならのみやこのほかまでも けふは花見とあさ起そする（一ノ三十七オ） あつさをもしのきかてらにひるねして すゝしき月を夜もすから見ん（一ノ三十七ウ） 初かりの玉つさよまんいますこし ひかりかゝけてみせよいなつま（一ノ三十八オ） 友人のとはん道さへたえはてゝ さともみやまとつもる大ゆき（一ノ三十八ウ） 時鳥待よりわひし声たえす うくひすなきてはるの行日は（一ノ三十九オ） 久かたの天のやちまたふく風も
051 高橋守的	心そまろき露のしら玉（一ノ二十六オ） 子日する末野のそらそみとりなる	065 遊女浅茅生	
052 石原豊村	天の原にもまつやおひたる（一ノ二十六ウ） 子を思ふこゝろめゝしききゝすかな 音にはなけともいたくをゝしき（一ノ二十七オ） 秋といへはきのふのあふきもつ手より おくてすゝしき今朝のはつ風（一ノ二十七ウ） 日記かゝぬひとも干かたに硯石 とりいてゝめてん土佐の海つら（一ノ二十八オ） やすの川やすのわたりはふみ月の けふのひと夜の名にこそありけれ（一ノ二十八ウ） さひしとて人のいきするたひゝに 霧たちそふか秋のゆふ暮（一ノ二十九オ） としのさかこえんまうけにえてしかな こかねのわらちしろかねの杖（一ノ二十九ウ） たしなしと人なゝけきそはつみ雪 おきその風にきえやはて南（一ノ三十オ） 待人にあらねとなつの木下かけ あとより風のくるそうれしき（一ノ三十ウ） ひとゝせのをはりよりまつさき出て はしめににほふ花は此花（一ノ三十一オ） 梅さくら過にしかたや忘るらん 大みや人はあふひかさして（一ノ三十一ウ） さみたれに川そひうつ木はなちりて おもはぬ波のしろくたつのみ（一ノ三十二オ）	066 菅野哥都住	
053 高野梅正		067 大口安長	
054 角田秋久		068 石河金由	
055 吉田芳季		069 三原春繁	
056 斎藤昌二		070 近 春住	
057 吉田長季		071 中嶋岸住	
058 八巻舍住		072 池田守崎	
059 渡辺合瀬		073 山本春好	
060 渡辺浦風		074 仁科守久	
061 大橋伊呂泥		075 大友桐麿	
062 栗原長秋		076 磯野茂村	
063 黒田豊秋		077 松川富門	
		078 梶山守海	

079 武田夏海

たちはなありて夏はかをるか（一ノ三十九ウ）
きえかての野へはかりかはさえかへる
そらにも雪のふりのこるみゆ（一ノ四十オ）

080 丹沢折鶴

物おもふこゝろは人にしられすて
はつかしさのみ色にいてにけり（一ノ四十ウ）
霜かれの野末しくるゝ雲みれば

081 春阿法師

そらのみとりも色かはり行（一ノ四十一オ）
すまのあまのかるやみるめのまはゆさよ

082 道子

波をもけさは雪のうつむか（一ノ四十一ウ）
なれくゝて久しくなれる冬よりも

083 土屋光村

けふこしはるのうれしきやなそ（一ノ四十二終オ）
君をわかこふるこゝろはあまれとも

084 有坂光隆

ことの葉たらて逢よしのなき（一ノ四十二終ウ）

草庵五百人一首巻二

目録

085 吉田一朶

陸奥羽田春日社司。通称左衛門輔。号浅柵庵。

086 中村春樹

出羽米沢人。通称伊平。号浅翠庵、又、巴蓋亭、梅垣内。天保四年十月六日没、年五十九。

087 鈴木綾主

江戸富沢町人。通称栄蔵。号浅詞堂、又、都錦園、巴人亭。

088 菅谷広村

下総関戸人。通称佐左衛門。号壺瀉亭、又、北鍼子。

089 新井守常

上野篠塚人。通称市左衛門。号茅文園。

090 大橋竹村

下野福良人。通称雄蔵。号浅鶯庵、又、此君堂。（二ノ目録初オ）

091 同 千村

大橋竹村孫。通称為輔。号壺桜園、又、銚廼屋、菅室。

092 和合岸員

陸奥山口人。通称善右衛門。号蓼田舎。

093 大森真柴

下野萩嶋人。通称彦兵衛。号常原亭、又、萩園。

094 河野久住

陸奥福島人。通称治右衛門。号浅齡庵、又、壺菊楼。

095 斎藤村並

同国同郷人。通称佐二兵衛。号浅檜庵、又、壺豊楼。

096 菅沢霞人

下総五江内人。通称佐右衛門。号壺汀楼。

097 清水友俊

同国鮑子人。通称太郎左衛門。号三有舎。

098 向後吉正

同国諸持人。通称政右衛門。号春路園。

099 同 道文

同国同郷人。通称清助。号壺解楼、又、薰風軒、金鈴子。（二ノ目録初ウ）

100 佐藤梅早

陸奥手渡人。通称吉右衛門。号浅曆庵、又、壺南園、東室亭。

101 渡辺 静

同国同郷人。通称嘉右衛門。号壺謡楼。

102 安田岸住

同国山口人。通称儀蔵。号浅蓼庵、又、壺眺楼。

103 斎藤清住

同国鎌田人。通称又十郎。号壺溪楼、又、眺花園。

104 清野岸光

同国山口人。通称円治郎。号壺水楼、又、清流亭。

105 糸井作良

上野花輪人。通称浄右衛門。号浅嶺庵、又、花王庵、山多楼。

106 高艸木高木

同国同郷人。通称弥一郎。号壺輪楼。

107 鈴木音鷹

同国同郷人。通称利八。号壺銀楼、又、玲々舎。

108 同 千本

同国宮崎人。通称善太郎。号浅穎庵、又、壺員楼、茅艸園（二ノ目録二オ）

109 綾刀自

黒河春村妻。号都柳園。

110 三上一臥

江戸巢鴨人。通称祐之助。号千歳亭。

111 白石居村

上野南牧人。住同国藤木。通称簾作。号壺随園、又、花蔭亭、楓園、桜木廼屋、青葉斎。

112 村田春種

同国荻原人。通称襄治郎。号清糸園。

113 花香照蔭

下総万才人。通称伝司。号翠嶺。

114 谷 浜風

陸奥弘前人。通称慶輔。号浅葉庵、又、水牛院、烏露廼屋。

115 前田喜多住

同国同郷人。通称久米吉。号浅祥庵。

116 船城予禄

同国同郷人。通称忠左衛門。号壺曲亭、又、松寿園。

117 手塚魚来

同国同郷人。通称莊蔵。号壺潮子、又、東西庵。（二

ノ目録二ウ)

- 118 堀田照景 同国同郷人。通称良輔。号壺酣楼、又、錦水園。
 119 市田皮之 同国木造人。通称五三郎。
 120 僧 鑿 同国同郷(以下五文字ほど墨格)号喜楽堂。
 121 専業法師 同国同郷慶応寺主祐意。号連葉庵。
 122 感 返上 同国同郷人。通称宇三郎。号東西房。
 123 物部照庭 上野一宮大宮司一宮志摩守。号浅白庵、又、望月館。
 124 河野守弘 下野大道人。通称伊右衛門。号浅芳庵、又、壺聚園、
 膠園。
 125 亀山惟一 同国亀山人。通称唯一。号五総園、又、佐那伎廻屋。
 126 小嶋笹根 常陸高田人。通称繁右衛門。号壺藪園。(二ノ目録三才)
 127 菅野楽人 陸奥福島人。通称与市。号浅苔庵。
 128 本多山住 同国同郷人。通称嘉七。号浅静庵。
 129 斎藤村住 同国同郷人。通称吉兵衛。号檜山亭。
 130 柴山里村 下野中嶋人。柴山国村弟。通称喜三郎。号春興園、又、
 鬘野亭、東郊舍。
 131 末生法師 江戸駒込教元寺弟智順。号壺昔園、又、一塵子。
 132 河野守弘母 下野大道人。自称桜戸姫、又、萱室。
 133 繁 子 河野守弘妹。号夏聚園、又、鏡室。文政十三年十月十
 日没、年二十六。
 134 倭文刀自 同妻。号春雨亭。
 135 甲田顕雄 同国吉田人。通称意伯。号壺芳園、又、葛園。(二ノ
 目録三ウ)
 136 杵山高行 常陸卒木人。通称東蔵。号壺翔楼、又、鶴亭。
 137 田口守明 下野吉田人。通称多一郎。号壺玉園、又、拾玉亭、楸
 園。
 138 同 国一 同国同郷人。通称幹五。号守水亭、又、玉塵楼、柯園。
 139 竹内直磨 上野一宮社家。通称廉斎。号浅節庵。
 140 大邑弘樹 下野大道人。通称利右衛門。号春野亭、又、葦園。
 141 小口弘一 同国吉田人。通称辰之助。号芳錦園、又、秋野亭。
 142 泰山信元 同国長沼人。通称久治郎。壺菅園。
 143 米川躬鳥 江戸芝人。通称左京。号五葉亭。
 144 酒井武暉 出羽竹杜人。通称庄之助。号信歌堂。(二ノ目録四才)
 145 谷郷菊見 越中富山人。通称小右衛門。号壺清楼、又、素琴亭。
 146 河合嶺雄 江戸本所人。通称与作。号浅濃庵、又、桑廻屋、蘭室。
 147 藤田茂高 富山侯臣。即住富山。通称晋之佑。号木公舍。
 148 赤荻了村 下総鹿鶴人。通称平司。号荻園。
 149 田中富村 下総福良人。通称竜碩。号牡丹園、又、竹如亭。
 150 宮崎若村 同国中嶋人。通称万太郎。号春柴園、又、青野亭。
 151 柴山岸村 同国同郷人。通称嘉吉。号帛水亭。
 152 田口興雄 同国吉田人。田口国一男。通称弥五左衛門。号芳雲楼、
 又、斐園、芙嶺亭。
 153 同 晴雄 同国同郷人。通称権右衛門。号芳野亭、又、一翠園、
 三明舍、藤園。(二ノ目録四ウ)
 154 福田近村 同国大中嶋人。通称忠右衛門。号詣河堂、又、桑園。
 155 池田本蔭 上野津久田人。池田一瓶男。初曰、守瓶。通称八郎治。
 号壺翫楼、又、茅遊園、潦亭、馨枝園。
 156 秋間光弘 下野柳林人。通称八兵衛。号芳桂園、又、楫廻屋、望
 月園。
 157 浜田長喜 富山侯臣。即住富山。通称定右衛門。号壺川楼、又、
 越川舍。
 158 久智市住 江戸京橋人。通称真太郎。号壺月堂、又、都橋園、一
 円斎。
 159 高橋満香 秋田侯臣。即住秋田。通称勇之丞。初曰、業増。号春
 抄園、又、吾道堂。
 160 堀江一章 出羽秋田人。通称助四郎。号玉塵亭、又、春窓園。
 161 山田守雄 同国能代人。通称龜五郎。号壺山楼。
 162 中嶋龜年 同国同郷人。通称永四郎。号玉淵亭。(二ノ目録五才)

163 佐々木晴海 同国同郷人。通称吉助。号玉鵬亭。
 164 北村春香 同国同郷人。通称佐吉。号玉卸庵。
 165 浄阿居士 同国同郷人。村木楽雄父。通称芦仲。号安楽亭。文政十一年十二月十二日没、年六十七。
 166 村木楽雄 同国同郷人。通称新三郎。号壺漬楼、又、灌園。
 167 西村四季見 同国同郷人。通称庄七。号玉照亭。
 168 堤 守文 越後三条人。秋田侯臣。即住秋田。通称謙吾。号浅玉庵。

右（二ノ目錄五ウ）

〔図版釈文〕

085 吉田 一朶 さひしさに手かひの猫もこの人と
 よひてかたらふ秋のゆふ暮（二ノ初オ）
 086 中村春樹 雪とみし花はのこりて遠山の
 みねにきえ行天津かりかね（二ノ初ウ）
 087 鈴木綾主 さくら花待しつらさもちるうさも
 わすれにけりさきのさかりは（二ノ二オ）
 088 菅谷広村 こぬ人をまつ夜の月しかたふけは
 我影さへにみえずなりけり（二ノ二ウ）
 089 新井守常 きふよりけふは寒けし冬くれは
 ことしも老となりやしつらん（二ノ三オ）
 090 大橋竹村 ふしのねはあけ暮人のみる山と
 しれはや雪のいゆきはゝかる（二ノ三ウ）
 091 大橋千村 山のはにいらてのこるはありあけの
 月もめつるか春のあけほの（二ノ四オ）
 092 和合岸員 たくひなくみしもみち葉はちりてたに
 あかぬつゝりのにしき也けり（二ノ四ウ）
 093 大森真柴 隅田川をふねうかへて汲さけに
 なみをうたする風のすゝしさ（二ノ五オ）

094 河野久住 老か世はかきりあらしと人のみし
 めかねはつさてとしをふるかな（二ノ五ウ）
 095 斎藤村並 うらゝと照日うれしみ久かたの
 そらにひめもすあそふひはりか（二ノ六オ）
 096 菅沢霞人 おそしとてたれかうとまん山さくら
 青葉にはなのおもかくしすれ（二ノ六ウ）
 097 清水友俊 よこくもにうき橋見えてはるの夜の
 夢をしからぬあけほのゝそら（二ノ七オ）
 098 向後吉正 小倉山またの御幸をもみち葉も
 にしきのとはりかけて待らん（二ノ七ウ）
 099 向後道文 おそさくらしなすくなきをめてんには
 言葉多きもたれかうとまん（二ノ八オ）
 100 佐藤梅早 いさとはんあるしまうけはわろしとも
 さくらか枝に手のとゝく宿（二ノ八ウ）
 101 渡辺 静 およひなき峯のさくらよ谷川の
 をられぬ水になかるゝもをし（二ノ九オ）
 102 安田岸住 明くれにとはるゝ花のさくら戸は
 よるたにさうて人をこそまで（二ノ九ウ）
 103 斎藤清住 しのふ山しけきかもとをたつぬとも
 人のこゝろのおくはしられし（二ノ十オ）
 104 清野岸光 たかさこの松吹風もこゑたかし
 うたふうたひをきくかことくに（二ノ十ウ）
 105 糸井作良 わきもこかはたへをしろみもゆる火を
 雪もてきやすこゝ地こそすれ（二ノ十一オ）
 106 高艸木高木 うちなひく草香の山の秋風に
 難波の海も浪やたつらん（二ノ十一ウ）
 107 鈴木音鷹 なかたちをかたらひえつるかひもなし
 人のこゝろのたのまれすして（二ノ十二オ）
 108 鈴木千本 ぬれてほす根わけのきくの露のまに

- 庭のさくらも七日へにけり(二ノ十二ウ)
山さとはいとゝさひしきゆふへかな
109 綾刀白
かたるもとふも萩はかりにて(二ノ十三オ)
ましらとはうへもいひけりよふこ鳥
110 三上一臥
人のまねして人よはふ也(二ノ十三ウ)
なにこともわすれてあかすみる雪は
世のうささへにふりうつむらん(二ノ十四オ)
111 白石居村
露のまに千とせをふへききくなれや
花まち遠になにおもひけん(二ノ十四ウ)
112 村田春種
梅か枝にきゐる鶯うへしこそ
舌もかわかてこゝらなくらめ(二ノ十五オ)
113 花香照蔭
ことゝはぬいはほなからもふたみかた
ふたりならひてたつはなつかし(二ノ十五ウ)
114 谷 浜風
さく花のにほひふかさもおのつから
くみてしらるゝさくら井の里(二ノ十六オ)
115 前田喜多住
花かけにあそふ故蝶(こて)のまひみれは
あかなくに日も入あやの袖(二ノ十六ウ)
116 船城予禄
君か代はちひきの石に春雨の
しつけくふりて穴うかつまで(二ノ十七オ)
117 手塚魚来
なきわたるこゑもめつらしほとゝきす
まつりみにこし加茂の山へを(二ノ十七ウ)
118 堀田照景
あすこえんたかねましろくふりつみて
いとゝ旅路そゆきつかへぬる(二ノ十八オ)
119 市田皮之
古郷は人もみぬまのかきつはた
たかしめゆひてひとり咲らん(二ノ十八ウ)
120 僧 鑿
雨にきるすけの小笠もふきあけの
はま風あらみ波にぬれつゝ(二ノ十九オ)
121 葦菜法師
暁はうらみんかねもゆふ暮に
122 感 返上
こんとつくるそうれしかりける(二ノ十九ウ)
- 123 物部照庭
咲にけりひらのたかねの山さくら
そらの海にもかけうつるへく(二ノ二十オ)
124 河野守弘
すへらきのおほんめくみのかけひろみ
氷もあつしよものひむろに(二ノ二十ウ)
125 亀山惟一
浪間照光もをかしさゝらかた
にしきのうらの秋の夜の月(二ノ二十一オ)
126 小嶋笹根
青柳にしは生のちりをはらはせて
あそふ春野のむしろにそかる(二ノ二十一ウ)
127 菅野楽人
陰たかし軒のしのふもした草と
おもふはかりにまつはさかえて(二ノ二十二オ)
128 本多山住
みな月はそらにも雨のたらねはや
ふると見るまにはるゝゆふたち(二ノ二十二ウ)
129 斎藤村住
たくみなりやみもたとらぬうかひ舟
おのかしわさにくらからすして(二ノ二十三オ)
130 柴山里村
悔しくも人に山路のしるへして
あたさくらををらせつる哉(二ノ二十三ウ)
131 末生法師
たちはなの香にむせひけんほとゝきす
わか門をしもなかくてするは(二ノ二十四オ)
132 河野守弘母
よひに見し夢のうき橋たちかへり
ふたゝひわたる暁のころ(二ノ二十四ウ)
133 繁 子
うすきこきもみちはかなくちりぬなり
みねもつねなき風やふくらん(二ノ二十五オ)
134 倭文刀自
あかつきのわかれわひしみことさらに
霜夜のかねそ身にはしみぬる(二ノ二十五ウ)
135 甲田顕雄
にきはへるかまとをはたちかさぬとも
ふしの煙やたちまさるらん(二ノ二十六オ)
136 秋山高行
おのか名をよこさしとてや加茂の川
たち行とりもにこささるらん(二ノ二十六ウ)
137 田口守明
ほとゝきす鳥羽田のさなへいつしかも

138 田口国一	かりかねなきて色つきにけり(二ノ二十七オ) あめのしたまたゝくひなき不士のねは 雪のいろにもいちしろきかな(二ノ二十七ウ) ひとついろに見えしこと木はもみちして 松をしくれのそめいたしけり(二ノ二十八オ) さみたれにさなへとる日もぬれしかと 秋のかりほの露そことなる(二ノ二十八ウ)
139 竹内直麿	難波かたかく、海かとたとる日は 梅そかすみのみをつくしなる(二ノ二十九オ) おほそらも人のかた見のこゝ地して こゝろなくさのかりの玉つき(二ノ二十九ウ) 墨染の羽袖もをかしとふほたる 身よりひかりをはなつとおもへは(二ノ三十オ) 獲物なき夜はゝさつをもさをしかの 角のふくれをおのれみすらん(二ノ三十ウ) さひしさよあきのなかはもはや過ぎて 月さへうときゆふ暮のそら(二ノ三十一オ) もろこしへ行もみやこにとゝまるも 春はあつまをとものにこそたて(二ノ三十一ウ) おなし世にうまれあはすは君故に しななはかりのものはおもはし(二ノ三十二オ) 世中の人のこゝろに似たるかな いさよふ波にうき草のはな(二ノ三十二ウ) をちこちにむしのなく音のきこえすは 野へともしらし霧ふかくして(二ノ三十三オ) やをかゆくはまのまさこもしかめやは いそへの松のちよのかすには(二ノ三十三ウ) きさらきのはしめにみけりをりかさす 杣の葉青きうまゝつりをは(二ノ三十四オ)
140 大邑弘樹	
141 小口弘一	
142 泰山信元	
143 米川躬鳥	
144 酒井武暉	
145 谷郷菊見	
146 河合嶺雄	
147 藤田茂高	
148 赤荻了村	
149 田中富村	
150 宮崎若村	
151 柴山岸村	
152 田口興雄	雨にのみめてんかけかはからさきの 松ははれたるそらのいろして(二ノ三十四ウ) むさし野の草はみなからふしのねの 雪のしたにてもゆる春かな(二ノ三十五オ) 滝つ瀬はしろき筋のみみたれけり くろかみ山におつるものから(二ノ三十五ウ) 花をなみ人のたふれぬかるかやも おのれと秋はしたをれにけり(二ノ三十六オ) たのしさよはるのとなりのたからをも かそへてくらすけふのこよひは(二ノ三十六ウ) しら浪のたちかへり行いそ千鳥 沖の小嶋になにわすれけん(二ノ三十七オ) ころもうつ音に夜寒のさとの名は とはてもしるき秋の此比(二ノ三十七ウ) 文机にむかへとくらきゆふ暮は みぬ世の友もとはてさひしな(二ノ三十八オ) 色々のはなさく秋は枯木をも もらさしとてかまとふ朝かほ(二ノ三十八ウ) 梅かゝのやみにもしるきたくひかな 霞かくれの鶯のこゑ(二ノ三十九オ) 山人の斧のひゝきもさえにけり 霜にくち木の杣の冬かれ(二ノ三十九ウ) かくれかは人にあふさへうの花を 垣ねにゆひて世をそへたつる(二ノ四十オ) けふことによるつ千秋の長秋を かさねてくまんきくのかかつき(二ノ四十ウ) 山川のとよむはかりそたつきなる 霞につゝく木曾のかけはし(二ノ四十一オ) 松たけによそほふはるの門みれは
153 田口晴雄	
154 福田近村	
155 池田本蔭	
156 秋間光弘	
157 浜田長喜	
158 久智市住	
159 高橋満香	
160 堀江一章	
161 山田守雄	
162 中嶋亀年	
163 佐々木晴海	
164 北村春香	
165 浄阿居士	
166 村木楽雄	

167 西村四季見 梅さへきよく花咲にけり(二ノ四十一ウ)
宇治川やしら波こゆる網代木に

168 堤 守文 寒さかさねてさゆる月かけ(二ノ四十二終オ)
たなはたのあふ夜は月もとくいるを
うこかぬ北のほしやなになり(二ノ四十二終ウ)

草庵五百人一首巻三

目録

169 青木一襲 上野津久田人。通称源蔵。号壺縫園、又、花田亭。

170 西村仲秋 常陸関本人。通称林左衛門。

171 浅野鈴庭 美濃今尾人。通称忠左衛門。号壺瑠庵、又、柏葉庵。

172 深谷莉穂 秋田侯臣。即住秋田。通称直。号壺僊楼。

173 五十嵐春雄 出羽秋田人。通称芳蔵。号玉柳舎。

174 上山羽狩 上野大間々人。通称喜兵衛。号浅桃庵、又、一丁亭。

175 湯本五百秋 天保五年午十一月九日没、年七十七。(三ノ目録一オ)

176 深沢駒寸 下総芳賀崎人。通称広吉。号桂下園、又、誠斎。

177 豊田守一 上野桐原人。通称弥五右衛門。号浅姜洞、又、雪蹄苑。

178 小宅文藻 同国大間々人。通称信吉。号壺玲楼、又、鱗岡。

179 美 余子 下野真岡人。通称喜兵衛。号日新斎、又、六花園、栲園。

180 武川守光 小宅文藻女。号感久苑、又、菊園。

181 連 女 上野太田人。通称藤兵衛。号青葉堂。

182 都丸宝船 武蔵高崎人。持田某母。号旅月堂。

183 角田一興 上野八崎人。通称忠蔵。号大海舎。

184 浅川魚一 同国津久田人。通称善蔵。号壺諷楼。(三ノ目録一ウ)

185 浦野立人 同国岩戸人。通称常治郎。号鐫川楼、又、繭糸亭、源紙園、竹葉舎。

186 富田永世 越中本郷人。通称甚蔵。号高雪庵。

187 新井玉世 武蔵太田人。住上野藤岡。通称金蔵。号浅律庵、又、

金風亭。

188 柳沢永俊 上野藤岡人。通称右一郎。号庭律庵、又、桑樹園。

189 浅見御世澄 同国同郷人。通称雄蔵。号壺澹園、又、緑毛斎。

190 峯 下蔭 同国同郷人。通称登世太郎。号壺富園、又、波静堂。

191 手計俊久 同国同郷人。峯越方男。通称安右衛門。号壺喬園、又、堰蓋楼。

192 小林星照 武蔵本庄人。住上野藤岡。通称左平。号二葉庵、又、高砂園。

193 高橋小田蒔 近江中野人。住上野藤岡。通称源三郎。号青律庵、又、鶴星堂、舛廼屋。(三ノ目録二オ)

194 中沢保世 武蔵肥土人。通称周兵衛。号壺耕園、又、村恭庵。

195 中嶋有員 同国同郷人。中沢細道男。通称栄兵衛。号壺聖園、又、大榎庵。

196 (像197) 山田徳司 三河道日記人。通称峻洞。号浅綉庵。

197 (像196) 岡部花雪 同国神有人。通称徳治。号山滝水。

198 山田岐英 同国同郷人。通称周助。号旭亭。

199 二瓶小瓶 同国同郷人。通称善蔵。号双樹園。

200 池田守好 出羽一本柳人。通称小左衛門。号壺澳楼。

201 吉川百潮 上野津久田人。通称源八郎。号壺学楼、又、馨花園。

202 綾 女 江戸浅草人。通称勘七。号紅楓園。(三ノ目録二ウ)

203 白 子 上野桐生人。長谷川某女。号茅棕園。

204 仮 名 女 同国同郷人。稲垣某女。号壺珪園、又、茅菊園、連栄亭。

205 室田春郷 三河荒木人。都筑某妻。

206 嶋田延樹 上野館林人。室田守郷男。通称啓太郎。号壺満楼。

下野田嶋人。初曰、綾成。通称嘉兵衛。号相生園、又、松亭、唐錦子。

- 207 池田幹久 上野峯人。通称伝蔵。号壺簷楼。
- 208 柳沢一棧 同国大竹人。柳沢春秀弟。通称国輔。号蘭園、又、竜枝園。
- 209 佐藤春舎 陸奥羽田人。通称直八郎。号壺興園、又、誠斎。
- 210 朽津守綾 上野上久方人。通称伊兵衛。号壺漢亭、又、茅風園。
(二ノ目錄三才)
- 211 荒井文一 同国同郷人。通称忠蔵。号壺潜亭、又、茅他園。
- 212 朽津綾竹 同国同郷人。通称惣助。号壺縞亭、又、茅曲園。
- 213 織子 同国同郷人。青木某女。号壺裳亭、又、茅秋園。
- 214 青木広嶺 同国同郷人。通称勝右衛門。号壺葉亭、又、妻々舎。
- 215 向田高輅 同国同郷人。通称陸右衛門。号壺音亭、又、檀園。
- 216 矢野里成 近江日野人。通称文左衛門。号田舎亭。
- 217 田中浜風 同国同郷人。通称孝助。号茅輪園、又、楠葉子。文政十二年五月廿六日没、年三十三。
- 218 前原守行 上野二渡人。通称徳右衛門。号壺道楼、又、茅檐楼。
- 219 糸井沖風 同国同郷人。通称清吉。号壺船楼、又、茅浦楼。(三ノ目錄三ウ)
- 220 深見廬山 三河新堀人。作名三笑。初号浅倉庵。後更竜眠閣。又、白蓮舎、石林觀、勢虎軒、旧珍斎。
- 221 白梅女 深見廬山妻。曰、鶯鵲。号浅英庵。文政九年七月十五日没、年四十七。
- 222 深見三躬 深見廬山男。通称珂六。号浅倉庵、又、壺江園。
- 223 井上如流 同国宇頭人。通称吉右衛門。号浅涯庵、又、壺唄楼。
- 224 外松三顧 同国佐々木人。通称隆朔。号命明楼。
- 225 市川山橋 同国平坂人。通称彦三郎。号壺澗楼、又、亀乘園。
- 226 古橋三雨 同国越戸人。仕新堀深見三躬家。通称利七。号青苔園。
- 227 権大僧都良賢 上野大間々人。大泉院主。作名峯之。号壺棧廬、又、芳野山人。
- 228 金子躬次 同国同郷人。通称雄次郎。号壺道楼。文化十三年八月廿二日没、年二十六。(三ノ目錄四才)
- 229 藤生百蔭 同国桐原人。通称善蔵。号壺彩楼、又、哥林亭。
- 230 布女 同国同郷人。松原某女。号壺洒園。
- 231 稻生波員 尾張布土人。通称新助。号稻葉亭。
- 232 西村宣文 伊勢山田人。住上野桐生。通称猶七郎。初曰、栄枝。号浅墨庵、又、茅清園、連玉亭。
- 233 初山茂平 上野太田人。住下野小俣。以茂平為通称。号壺初亭、又、連草亭。
- 234 須藤宗曉 下野小俣人。通称元輔。号浅星庵、又、壺会楼、連山亭、楨園。
- 235 白王 江戸吉原江戸町玉楼遊女。
- 236 外池真澄 近江日野人。通称太右衛門。号池廼屋、又、綾園。
- 237 加藤蔭直 出羽庄内隠士。通称瑞園。号脩竹園、又、花顛老人。
(三ノ目錄四ウ)
- 238 村上秋照 下野太田原人。住江戸浅草。通称佐太郎。号稻葉園。
- 239 深沢保清 上野新川人。通称惣右衛門。号壺桓園、又、田見楼。
- 240 (像241) 新井細道 同国大間々人。通称半治郎。号茅原亭。
- 241 (像240) 星野末繁 同国同郷人。通称茂七。号浅萊庵、又、若草庵。
- 242 岩田一得 江戸靈岸嶋人。通称正八。号壺朝楼、又、千有子。
- 243 青木守照 上野津久田人。通称半兵衛。号壺日園、又、亜斎、鏡園。
- 244 伊都子 同国大間々人。長沢滿雅妻。号壺珀園。
- 245 青山三津磨 同国同郷人。通称賢斎。壺晋廬、又、杏林舎。
- 246 深沢大蔭 同国桐原人。深沢駒寸男。通称善之輔。号壺鳴園。
(三ノ目錄五才)
- 247 石原真金 同国同郷人。通称八十八。号鑼斎。
- 248 同 畝磨 同国同郷人。通称和介。号壺周楼、又、農珉子。
- 249 藤生高峯 同国同郷人。通称平右衛門。号壺銅楼、又、銀虫亭。

250 星野静波 同国同郷人。星野竜海男。通称要輔。号壺泉楼、又、青陽子。

右（三ノ目錄五ウ）

〔図版釈文〕

169 青木一襲

人みなねさめをときとほとゝきす

170 西村仲秋

なけや夜ふかきこゑはあたらし（三ノ初オ）

171 浅野鈴庭

くらくおきてむまゝとまたれけり

172 深谷莉穂

さかはつけんのはなのつかひも（三ノ初ウ）

173 五十嵐春雄

霜はらふ羽そてつかれて水鳥の

174 上山羽狩

ぬるまはなみもさわかさりけり（三ノ二オ）

175 湯本五百秋

たつ鹿のあとよりほかは朝露に

176 深沢駒寸

ぬれぬ所もあらぬ野へ哉（三ノ二ウ）

177 豊田守一

から衣我にしたしきいもやうつ

178 小宅文藻

霧のまかきに音もへたてす（三ノ三オ）

179 美余子

軒過る風もみらくこゝちして

180 武川守光

きよく涼しき青すたれかな（三ノ三ウ）

181 連 女

ぬは玉のやみ路たとるか郭公

182 都丸宝船

あとさきわかぬ夜はのひとこゑ（三ノ四オ）

183 角田一興

春そとははしめてしらん初わかな

184 浅川魚一

つまれて雪の中いつるとき（三ノ四ウ）

185 浦野立人

咲はなのかけにやすらふこゝちせり

186 富田永世

かさしの梅はさえたなからも（三ノ五オ）

187 新井玉世

いたゝきの雪きえはてんいつる日の

188 柳沢永俊

光にあたるくる髪山の（三ノ五ウ）

189 浅見御世澄

うらやまんさかりひさしききくも猶

190 峯 下 隆

千秋かさぬる君かよはひは（三ノ六オ）

191 手計俊久

山さとのさひしさいかに都すら

192 小林星照

となりへたつる秋のゆふきり（三ノ六ウ）

193 高橋小田蒔

しら浪にしつ枝あらひていそのまつ

194 中沢保世

千とせも色のよこれさるらん（三ノ七オ）

195 中嶋有員

はる雨のふる日も風のさゆる日も

196 柳はそらのみとりなりけり（三ノ七ウ）

197 雨ふりかゝるはなのした露（三ノ七ウ）

198 ほとゝきすなき行そらあり明の

199 月のみや人ねさめにや聞（三ノ八ウ）

あまの川いまこそ星はわたるらめ

かけもたらひのみなそこにみゆ（三ノ八オ）

さくら花あかぬなかにわすれ草

煙もふかて行山路かな（三ノ八ウ）

春日野のわか紫の初わらひ

露しけみたましく敷の月かけは

さなから竹のみやこなりけり（三ノ八ウ）

人しれぬむくらのやとは鶯も

霞のおくにかくれてそなく（三ノ九オ）

我庵は誰かはとはん山ふかみ

道踏まよふ人ならすして（三ノ九ウ）

岑も尾もひとつ色にてふたつなき

なかめなりけり雪のふしのね（三ノ十オ）

野辺ちかき家は籠のうくひすに

かはんわかなを朝なゝつむ（三ノ十ウ）

ぬすみけんみち代の桃のふることを

ためしに花のえたもをらはや（三ノ十一オ）

梅をほしさを雪とみる春の

柳はそらのみとりなりけり（三ノ十一ウ）

さくらかり雲か雪かとみるほとに

雨ふりかゝるはなのした露（三ノ十二オ）

ほとゝきすなき行そらあり明の

月のみや人ねさめにや聞（三ノ十二ウ）

あまの川いまこそ星はわたるらめ

かけもたらひのみなそこにみゆ（三ノ十三オ）

さくら花あかぬなかにわすれ草

煙もふかて行山路かな（三ノ十三ウ）

春日野のわか紫の初わらひ

196(目録197)岡部花雪
末はしのふとともにみたれん(三ノ十四オ)

わたつみのはるのけしきやあかさらん

うたふ舟人ともよはふあま(三ノ十四ウ)

197(目録196)山田徳司

あひみれはまた暁の露わけて

かにもかくにも袖そかわかぬ(三ノ十五オ)

しほらしきふちのはなにはすねものと

いはるゝまつも身をまかせけり(三ノ十五ウ)

199二瓶小瓶

瀬をはやみせきとめかたき滝川も

200池田守好

岩にすかりて水はこほるか(三ノ十六オ)

いつくより春はきにけんあさかすみ

201吉川百潮

にしに東にひまもあらぬを(三ノ十六ウ)

みち遠みはねやつかれしとふかりも

202綾女

はふかとみゆるむさし野のゝはら(三ノ十七オ)

はなさかはをらせしとおもふうつき垣

203白子

たかおほふらんしろたへのそて(三ノ十七ウ)

朧夜の月はつれなきたもとも

204仮名女

うつりにけりな梅の匂ひは(三ノ十八オ)

月のいる山をうらみてうしや身は

205室田春郷

鵜かひもしらぬつみつくりつゝ(三ノ十八ウ)

いけのへのまつ姿のめてたきは

206嶋田延樹

日ことかゝみをみればなるらん(三ノ十九オ)

へたてなき中をへたつる人めをは

207池田幹久

なきそかなしきへたつるすへも(三ノ十九ウ)

いまうゑし花も梢したかければ

208柳沢一棧

をちこち人のしりてとふらむ(三ノ廿オ)

滝津瀬はへたてゝおなし岩の上に

しらぬのかくる雲もありけり(三ノ廿ウ)

209佐藤春舎

よし野山画にもおよはぬ花かけに

こゝろうつしてみぬ人もなし(三ノ廿一オ)

たちならふ松のなみ木を柱にて

くちん世もなきあまの橋たて(三ノ廿一ウ)

錦木のくつるをなけく涙には

211荒井文一

またわか袖をちたひそめけり(三ノ廿二オ)

宮人は駒よりさきにつまつかむ

212朽津綾竹

ふみもなれさるせきの岩角(三ノ廿二ウ)

みるかうちにかはりもゆくかあさかほの

213織子

花さへ秋のそら色にして(三ノ廿三オ)

しらく咲梅をしみれは難波かた

214青木広嶺

つね見る浪の花にまされり(三ノ廿三ウ)

布引の滝のひゝきもしのふまで

215向田高輦

あしやのさとに衣うつなり(三ノ廿四オ)

名残おもふこゝろのほかのくまもなし

216矢野里成

あかぬに月のふくるこよひは(三ノ廿四ウ)

萩すゝきあけなはをらん秋の野へ

217田中浜風

月もをしかも山へかへして(三ノ廿五オ)

いかにして井はほりかねしむさし野に

218前原守行

月の水さへちかくみゆるを(三ノ廿五ウ)

はなさけは手折あまれり秋の野辺

219糸井沖風

はるはつむにもたらすみえしを(三ノ廿六オ)

おほそらをかけるはかりそ御狩野や

220深見廬山

雲井にのほる田鶴のはやさも(三ノ廿六ウ)

ねかへれはぬくるかさしの音をへて

221白梅女

枕へちかく落るかりかね(三ノ廿七オ)

水底のかけは藻に住夏むしも

222深見三躬

我からなかつて身やかすらむ(三ノ廿七ウ)

夏草は道たゆはかりしけれとも

223井上如流

224 外松三顧
 ほとたるは庵とはぬ夜もなし（三ノ廿八オ）
 人みなのいのちをおもひわつらひて
 わかむねさへにいためつるかな（三ノ廿八ウ）
 225 市川山橋
 すかたこそ深山かくれのほとゝきす
 こゑはみやこのはなにまされり（三ノ廿九オ）
 寒からぬ木のした風もさくらはな
 雪とちる日はみにそしみぬる（三ノ廿九ウ）
 226 吉橋三雨
 227 権大僧都良賢
 苗代に名におふ滝もせきいれつ
 みのらは老をやしなはんとや（三ノ卅オ）
 228 金子躬次
 雨こひてかはつたよむ山田には
 しつもちひのたねやまくらむ（三ノ卅ウ）
 宮人もあくかれいてゝほとゝきす
 229 藤生百蔭
 あらぬ雲井のはつ音きくらん（三ノ卅一オ）
 野下して花野はいたくあれしかと
 230 布女
 もとのことくに露は匂へり（三ノ卅一ウ）
 おもひあふいもせを山の名たてにて
 231 稻生波員
 かたみに秋の色そこかるゝ（三ノ卅二オ）
 君かためつむへかりけり人もまた
 232 西村宣文
 ふまぬ雪まの清きわかなは（三ノ卅二ウ）
 君か代の春をことほくことのはや
 233 初山茂平
 まつさく花のはしめなるらん（三ノ卅三オ）
 きゝわかぬいそ枕への小夜ちとり
 234 須藤宗曉
 さふくてなくやなきてさふしや（三ノ卅三ウ）
 わか身たにわかこゝろにしまかせねは
 235 遊女白玉^{（マメ）}
 人のつらさもなにかうらみん（三ノ卅四オ）
 なつ山にをしなまつらんさつ人も
 236 外池真澄
 ひさをりふせて身をかくしつゝ（三ノ卅四ウ）
 さくら咲はるはみやこの山のはに
 237 加藤蔭直

238 村上秋照
 浪よりいつる月をみる哉（三ノ卅五オ）
 玉川はきしのしら浪立そふか
 うつ音たかしさとのきぬたも（三ノ卅五ウ）
 239 深沢保清
 むらすゝき穂わたみたれてかれふしぬ
 雪にはいまた埋みはてぬを（三ノ卅六オ）
 240（目録241）星野末繁
 たつ田姫立るやいつこうす霧の
 衣かつかぬ秋山もなし（三ノ卅六ウ）
 241（目録240）新井細道
 たらちねのめにかとたてゝいもか閨
 われをいれしとものかわひしさ（三ノ卅七オ）
 豊なる御代のわさとほきこゆなり
 田ことにうたふさをとめの声（三ノ卅七ウ）
 242 岩田一得
 照月のむすはぬ水もかけみれは
 袖ひつはかりすゝしかりけり（三ノ卅八オ）
 243 青木守照
 あかぬかな岩ほにかゝるふちの花
 244 伊都子
 天のはころもみるこゝ地して（三ノ卅八ウ）
 紫ははひさすものそつはくらめ
 245 青山三津麿
 くるきなか羽はなにゝそめけん（三ノ卅九オ）
 あまの河ちかきわたりもわたつみの
 246 深沢大蔭
 なみ路はるけく君はおほさん（三ノ卅九ウ）
 ひるたにもをくらきまとにさやかなる
 247 石原真金
 光かゝけてとふ蛩哉（三ノ四十オ）
 もみち葉に折そへもては松杣の
 248 石原畝麿
 いろさへおなしにしきとそみる（三ノ四十ウ）
 とふほたる野中にあまたかけ見えて
 249 藤生高峯
 くちぬ草葉の露もひかれり（三ノ四十一終オ）
 ほとゝきすたゝひとこゑにあけぬとは
 250 星野静波
 月もしらてやなほのこるらん（三ノ四十一終ウ）

001 大垣市人 (二ノ初オ)



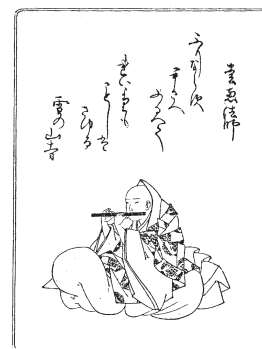
004 土屋千元 (二ノ二ウ)



007 柴山国村 (二ノ四オ)



010 春恵法師 (二ノ五ウ)



002 大垣守舎 (二ノ初ウ)



005 茗溪法師 (二ノ三オ)



008 津田琴繁 (二ノ四ウ)



011 権律師了明 (二ノ六オ)



003 黒河春村 (二ノ二オ)



006 沙弥鵠林 (二ノ三ウ)



009 梶 子 (二ノ五オ)



012 栄 子 (二ノ六ウ)



013 宮下道守 (二ノ七才)



016 森 広蔭 (二ノ八ウ)



019 多賀長住 (二ノ十才)



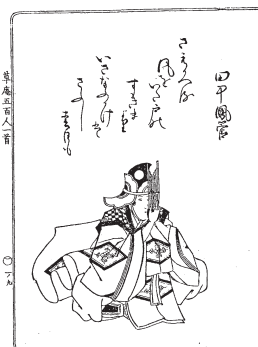
022 中村北麿 (二ノ十一ウ)



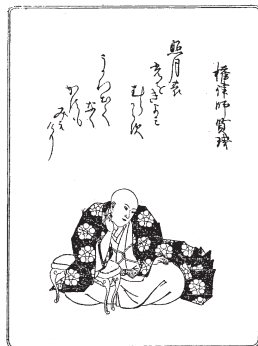
014 小楳百枝 (二ノ七ウ)



017 田中鳳管 (二ノ九才)



020 権律師賢瓊 (二ノ十ウ)



023 小森守冬 (二ノ十二才)



015 勝田福壽 (二ノ八才)



018 奥居庫住 (二ノ九ウ)



021 新嶋高村 (二ノ十一才)



024 向後河鳥 (二ノ十二ウ)



025 星野糸成 (二ノ十三才)



026 宮下為業 (二ノ十三ウ)



027 宮下梅侯 (二ノ十四才)



028 植木守斗 (二ノ十四ウ)



029 関口二岱 (二ノ十五才)



030 浅川友乗 (二ノ十五ウ)



031 篠原菊麿 (二ノ十六才)



032 北出春人 (二ノ十六ウ)



033 大矢都水 (二ノ十七才)



034 片桐北塙 (二ノ十七ウ)



035 柴山草村 (二ノ十八才)



036 野口雪村 (二ノ十八ウ)



037 林 女（二ノ十九才）



038 池田一瓶（二ノ十九ウ）



039 品川夢成（二ノ二十才）



040 江利川守枝（二ノ二十ウ）



041 室田守郷（二ノ二十一才）



042 簗 子（二ノ二十一ウ）



043 星野竜海（二ノ二十二才）



044 新井秋住（二ノ二十二ウ）



045 新井守村（二ノ二十三才）



046 橋本高広（二ノ二十三ウ）



047 下田疇成（二ノ二十四才）



048 佐藤宣洲（二ノ二十四ウ）



049 柳沢春秀 (二ノ二十五才)



050 村田元成 (二ノ二十五ウ)



051 高橋守的 (二ノ二十六才)



052 石原豊村 (二ノ二十六ウ)



053 高野梅正 (二ノ二十七才)



054 角田秋久 (二ノ二十七ウ)



055 吉田芳季 (二ノ二十八才)



056 斎藤昌二 (二ノ二十八ウ)



057 吉田長季 (二ノ二十九才)



058 八巻舎住 (二ノ二十九ウ)



059 渡辺合瀬 (二ノ三十才)



060 渡辺浦風 (二ノ三十ウ)



061 大橋伊呂泥 (一ノ三十一才)



064 遊女二元 (一ノ三十二才)



067 大口安長 (一ノ三十四才)



070 近 春住 (一ノ三十五才)



062 栗原長秋 (一ノ三十一才)



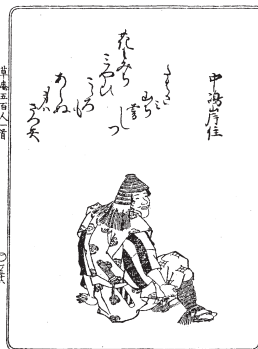
065 遊女浅茅生 (一ノ三十三才)



068 石河金由 (一ノ三十四才)



071 中嶋岸住 (一ノ三十六才)



063 黒田豊秋 (一ノ三十二才)



066 菅野哥都住 (一ノ三十三才)



069 三原春繁 (一ノ三十五才)



072 池田守崎 (一ノ三十六才)



085 吉田一朶 (二ノ初オ)



086 中村春樹 (二ノ初ウ)



087 鈴木綾主 (二ノ二オ)



088 菅谷広村 (二ノ二ウ)



089 新井守常 (二ノ三オ)



090 大橋竹村 (二ノ三ウ)



091 大橋千村 (二ノ四オ)



092 和合岸員 (二ノ四ウ)



093 大森真柴 (二ノ五オ)



094 河野久住 (二ノ五ウ)



095 斎藤村並 (二ノ六オ)



096 菅沢霞人 (二ノ六ウ)



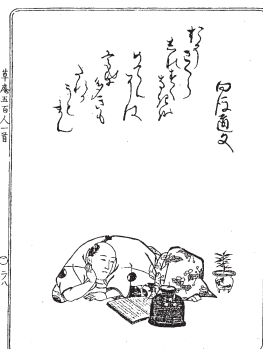
097 清水友俊 (二ノ七才)



098 向後吉正 (二ノ七ウ)



099 向後道文 (二ノ八才)



100 佐藤梅早 (二ノ八ウ)



101 渡辺 静 (二ノ九才)



102 安田岸住 (二ノ九ウ)



103 斎藤清住 (二ノ十才)



104 清野岸光 (二ノ十ウ)



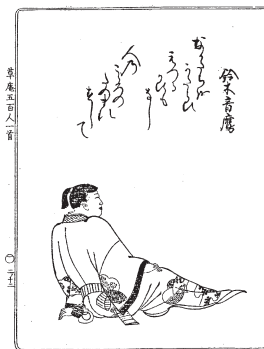
105 糸井作良 (二ノ十一才)



106 高艸木高木 (二ノ十一ウ)



107 鈴木音鷹 (二ノ十二才)



108 鈴木千本 (二ノ十二ウ)



109 綾刀自 (二ノ十三才)



112 村田春種 (二ノ十四ウ)



115 前田喜多住 (二ノ十六才)



118 堀田照景 (二ノ十七ウ)



110 三上一臥 (二ノ十三ウ)



113 花香照蔭 (二ノ十五才)



116 船城予禄 (二ノ十六ウ)



119 市田皮之 (二ノ十八才)



111 白石居村 (二ノ十四才)



114 浜風 (二ノ十五ウ)



117 手塚魚来 (二ノ十七才)



120 僧 齋 (二ノ十八ウ)



121 専業法師 (二ノ十九才)



124 河野守弘 (二ノ二十ウ)



127 菅野楽人 (二ノ二十二才)



130 柴山里村 (二ノ二十三ウ)



122 感 返上 (二ノ十九ウ)



125 龜山惟一 (二ノ二十一才)



128 本多山住 (二ノ二十二ウ)



131 末生法師 (二ノ二十四才)



123 物部照庭 (二ノ二十才)



126 小嶋笹根 (二ノ二十一ウ)



129 斎藤村住 (二ノ二十三才)



132 河野守弘母 (二ノ二十四ウ)



133 繁子 (二ノ二十五オ)



134 倭文刀自 (二ノ二十五ウ)



135 甲田顕雄 (二ノ二十六オ)



136 杵山高行 (二ノ二十六ウ)



137 田口守明 (二ノ二十七オ)



138 田口国一 (二ノ二十七ウ)



139 竹内直麿 (二ノ二十八オ)



140 大邑弘樹 (二ノ二十八ウ)



141 小口弘一 (二ノ二十九オ)



142 泰山信元 (二ノ二十九ウ)



143 米川躬鳥 (二ノ三十オ)



144 酒井武暉 (二ノ三十ウ)



145 谷郷菊見 (二ノ三十一才)



146 河合嶺雄 (二ノ三十一ウ)



147 藤田茂高 (二ノ三十二才)



148 赤荻了村 (二ノ三十二ウ)



149 田中富村 (二ノ三十三才)



150 宮崎若村 (二ノ三十三ウ)



151 柴山岸村 (二ノ三十四才)



152 田口興雄 (二ノ三十四ウ)



153 田口晴雄 (二ノ三十五才)



154 福田近村 (二ノ三十五ウ)



155 池田本蔭 (二ノ三十六才)



156 秋間光弘 (二ノ三十六ウ)





159 高橋満香 (二ノ三十八才)



158 久智市住 (二ノ三十七才)



157 浜田長喜 (二ノ三十七才)



162 中嶋亀年 (二ノ三十九才)



161 山田守雄 (二ノ三十九才)



160 堀江一章 (二ノ三十八才)



165 浄阿居士 (二ノ四十一才)



164 北村春香 (二ノ四十才)



163 佐々木晴海 (二ノ四十才)



168 堤守文 (二ノ四十二終才)



167 西村四季見 (二ノ四十二終才)



166 村木楽雄 (二ノ四十一才)

169 青木一襲（三ノ初才）



170 西村仲秋（三ノ初ウ）



171 浅野鈴庭（三ノ二才）



172 深谷荳穂 (三ノ二ウ)



173 五十嵐春雄（三ノ三才）



174 上山羽狩（三ノ三ウ）



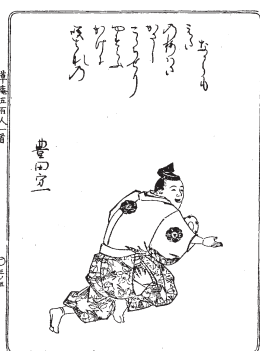
175 湯本五百秋（三ノ四才）



176 深沢駒寸（三ノ四ウ）



177 豊田守一（三ノ五才）



178 小宅文藻 (三ノ五ウ)



179 美余子（三ノ六才）



180 武川守光（三ノ六ウ）



181 連 女 (三ノ七才)



184 浅川魚一 (三ノ八ウ)



187 新井玉世 (三ノ十才)



190 峯 下 蔭 (三ノ十一ウ)



182 都丸宝船 (三ノ七ウ)



185 浦野立人 (三ノ九才)



188 柳沢永俊 (三ノ十ウ)



191 手計俊久 (三ノ十二才)



183 角田一興 (三ノ八才)



186 富田永世 (三ノ九ウ)



189 浅見御世澄 (三ノ十一才)



192 小林星照 (三ノ十二ウ)



193 高橋小田時 (三ノ十三才)



194 中沢保世 (三ノ十三ウ)



195 中嶋有員 (三ノ十四才)



196 (目録197) 岡部花雪 (三ノ十四ウ)



197 (目録196) 山田徳司 (三ノ十五才)



198 山田岐英 (三ノ十五ウ)



199 二瓶小瓶 (三ノ十六才)



200 池田守好 (三ノ十六ウ)



201 吉川百潮 (三ノ十七才)



202 綾女 (三ノ十七ウ)



203 白子 (三ノ十八才)



204 仮名女 (三ノ十八ウ)



205 室田春郷 (三ノ十九才)



206 嶋田延樹 (三ノ十九才)



207 池田幹久 (三ノ廿才)



208 柳沢一棧 (三ノ廿才)



209 佐藤春舎 (三ノ廿二才)



210 朽津守綾 (三ノ廿二才)



211 荒井文一 (三ノ廿二才)



212 朽津綾竹 (三ノ廿二才)



213 織子 (三ノ廿三才)



214 青木広嶺 (三ノ廿三才)



215 向田高輶 (三ノ廿四才)



216 矢野里成 (三ノ廿四才)



217 田中浜風 (三ノ廿五才)



218 前原守行 (三ノ廿五ウ)



219 糸井沖風 (三ノ廿六才)



220 深見廬山 (三ノ廿六ウ)



221 白梅女 (三ノ廿七才)



222 深見三躬 (三ノ廿七ウ)



223 井上如流 (三ノ廿八才)



224 外松三顧 (三ノ廿八ウ)



225 市川山橋 (三ノ廿九才)



226 吉橋三雨 (三ノ廿九ウ)



227 権大僧都良賢 (三ノ卅才)



228 金子躬次 (三ノ卅ウ)



229 藤生百蔭 (三ノ冊一才)



230 布 女 (三ノ冊一ウ)



231 稲生波員 (三ノ冊二才)



232 西村宣文 (三ノ冊二ウ)



233 初山茂平 (三ノ冊三才)



234 須藤宗暁 (三ノ冊三ウ)



235 遊女白玉 (三ノ冊四才)



236 外池真澄 (三ノ冊四ウ)



237 加藤蔭直 (三ノ冊五才)



238 村上秋照 (三ノ冊五ウ)



239 深沢保清 (三ノ冊六才)



240 (目録241) 星野末繁 (三ノ冊六ウ)



241(目録240)新井細道(三ノ冊七才)



242岩田一得(三ノ冊七ウ)



243青木守照(三ノ冊八才)



244伊都子(三ノ冊八ウ)



245青山三津磨(三ノ冊九才)



246深沢大蔭(三ノ冊九ウ)



247石原真金(三ノ四十才)



248石原畝磨(三ノ四十ウ)



249藤生高峯(三ノ四十一終才)



250星野静波(三ノ四十一終ウ)



【あ】	青木一襲↓	綾主↓	087 鈴木綾主	一臥↓	110 三上一臥	伊兵衛↓	052 石原豊村
青木某女↓	169 青木一襲	新井秋住↓	044 新井秋住	市川山橋↓	225 市川山橋	伊呂泥↓	210 朽津守綾
青木某女↓	213 織子	新井秋住男↓	045 新井守村	市左衛門↓	089 新井守常	岩田一得↓	061 大橋伊呂泥
青木広嶺↓	214 青木広嶺	新井玉世↓	187 新井玉世	一塵子↓	131 末生法師		242 岩田一得
青木守照↓	243 青木守照	荒井文一↓	211 荒井文一	市住↓	158 久智市住	【う】	187 新井玉世
青木三津麿↓	245 青木三津麿	新井細道↓	240(像241) 新井細道	一朶↓	085 吉田一朶	右一郎↓	028 植木守斗
赤荻了村↓	148 赤荻了村	新井守常↓	089 新井守常	市田皮之↓	119 市田皮之	植木守斗↓	184 浅川魚一
顕雄↓	135 甲田顕雄	新井守村↓	045 新井守村	一宮志摩守↓	123 物部照庭	魚一↓	117 手塚魚米
秋住↓	044 新井秋住	有員↓	195 中嶋有員	一宮杜家↓	139 竹内直麿	魚米↓	069 三原春繁
秋田侯臣↓	159 高橋満香	有坂光隆↓	084 有坂光隆	市人↓	001 大垣市人	魚屋↓	174 上山羽狩
	168 堤守文	安楽亭↓	165 浄阿居士	市兵衛↓	050 村田元成	羽狩↓	122 感返上
秋照↓	172 深谷莉穂	【い】	058 八卷舍住	逸庵↓	061 大橋伊呂泥	宇三郎↓	047 下田疇成
秋久↓	238 村上秋照	舍住↓	124 河野守弘	伊都子↓	244 伊都子	疇成↓	248 石原畝麿
秋間光弘↓	054 角田秋久	伊右衛門↓	175 湯本五百秋	一棧↓	208 柳沢一棧	畝麿↓	100 佐藤梅早
亜斎↓	156 秋間光弘	五百秋↓	173 五十嵐春雄	一襲↓	169 青木一襲	梅垣内↓	086 中村春樹
浅川魚一↓	243 青木守照	五十嵐春雄↓	038 池田一瓶	一翠園↓	153 田口晴雄	梅早↓	100 佐藤梅早
浅川友乗↓	184 浅川魚一	池田一瓶↓	155 池田本蔭	一岱↓	029 関口一岱	梅正↓	053 高野梅正
浅茅生↓	030 浅川友乗	池田一瓶男↓	207 池田幹久	一得↓	174 上山羽狩	浦風↓	060 渡辺浦風
浅野鈴庭↓	065 浅茅生	池田幹久↓	155 池田本蔭	逸之助↓	242 岩田一得	浦野立人↓	185 浦野立人
浅見御世澄↓	171 浅野鈴庭	池田本蔭↓	072 池田守崎	一瓶↓	038 池田一瓶	雲我堂↓	019 多賀長住
葦園↓	189 浅見御世澄	池田守崎↓	072 池田守崎	糸井沖風↓	066 菅野歌都住	【え】	033 大矢都水
芦仲↓	140 大邑弘樹	池田守好↓	200 池田守好	糸井作良↓	219 糸井沖風	栄吉↓	079 武田夏海
綾女↓	165 浄阿居士	池廻屋↓	236 外池真澄	糸成↓	105 糸井作良	栄子↓	012 栄子
斐園↓	202 綾女	石河金由↓	068 石河金由	稻生波員↓	025 星野糸成	栄子↓	039 品川夢成
綾園↓	152 田口興雄	石原畝麿↓	248 石原畝麿	稲垣某女↓	231 稻生波員	英五郎↓	062 栗原長秋
綾竹↓	236 外池真澄	石原豊村↓	052 石原豊村	井上如流↓	203 白子	永三郎↓	232 西村宣文
綾刀白↓	212 朽津綾竹	石原真金↓	247 石原真金	意伯↓	223 井上如流	栄枝↓	162 中嶋龜年
綾成↓	109 綾刀白	磯野茂村↓	076 磯野茂村	伊平↓	135 甲田顕雄	永四郎↓	
	206 嶋田延樹	一円斎↓	158 久智市住		086 中村春樹		

— 86 —

吉右衛門↓	100 佐藤梅早	玉蓮↓	027 宮下梅侯	栗原長秋↓	062 栗原長秋	源助↓	078 梶山守海
吉助↓	223 井上如流	玉楼遊女↓	235 白王	黒河春村↓	003 黒河春村	源蔵↓	169 青木一襲
吉兵衛↓	163 佐々木晴海	清住↓	103 斎藤清住	黒河春村妹↓	042 簀子	源八郎↓	200 池田守好
儀八郎↓	035 柴山草村	清野岸光↓	104 清野岸光	黒河春村妻↓	109 綾刀自	【一】	108 鈴木木本
喜兵衛↓	129 斎藤村住	喜代之助↓	077 松川富門	黒田豊秋↓	063 黒田豊秋	壺員楼↓	175 湯本五百秋
儀兵衛↓	030 浅川友乘	喜楽堂↓	120 僧醫	桑園↓	154 福田近村	栲園↓	178 小宅文藻
儀兵衛↓	174 上山羽狩	桐磨↓	075 大友桐磨	桑廼屋↓	146 河合嶺雄	広吉↓	024 向後河鳥
儀兵衛↓	178 小宅文藻	金華苑↓	043 星野竜海	薫風軒↓	099 向後道文	向後河鳥↓	099 向後道文
久五郎↓	032 北出春人	錦吉↓	073 山本春好	【け】	062 栗原長秋	向後吉正↓	098 向後吉正
久五郎↓	071 中嶋岸住	菟菜園↓	118 堀田照景	桂園↓	121 尊菜法師	孝助↓	217 田中浜風
久五郎↓	124 河野守弘	錦水園↓	075 大友桐磨	桂下園↓	175 湯本五百秋	高雪庵↓	185 浦野立人
久治郎↓	054 角田秋久	金蔵↓	186 富田永世	馨花園↓	200 池田守好	甲田顕雄↓	135 甲田顕雄
旧珍斎↓	142 泰山信元	銀虫亭↓	249 藤生高峯	詣河堂↓	154 福田近村	河野久住↓	094 河野久住
宮明遠↓	220 深見廬山	金風亭↓	186 富田永世	馨枝園↓	155 池田本蔭	河野守弘↓	124 河野守弘
鏡園↓	013 宮下道守	金鈴子↓	099 向後道文	慶輔↓	114 谷浜風	河野守弘妹↓	133 繁子
教元寺弟智順↓	243 青木守照	【く】	035 柴山草村	啓太郎↓	205 室田春郷	河野守弘妻↓	134 倭文刀自
鏡室↓	131 末生法師	草村↓	135 甲田顕雄	啓迪舎↓	026 宮下為業	河野守弘母↓	132 河野守弘母
杏林舎↓	133 繁子	葛園↓	176 深沢駒寸	月庵↓	081 春阿法師	紅楓園↓	201 古川百潮
玉淵亭↓	245 青山三津磨	駒寸↓	158 久智市住	賢洵↓	022 中村北磨	壺英堂↓	031 篠原菊麿
曲々亭↓	162 中嶋亀年	久智市住↓	212 朽津綾竹	謙吾↓	168 堤守文	壺艷楼↓	145 谷郷菊見
玉卸庵↓	043 星野竜海	朽津綾竹↓	210 朽津守綾	謙斎↓	027 宮下梅侯	壺桜園↓	061 大橋伊呂泥
玉照亭↓	164 北村春香	朽津守綾↓	010 春恵法師	賢斎↓	245 青山三津磨	壺澳楼↓	091 大橋千村
玉塵亭↓	167 西村四季見	宮内卿↓	138 田口国一	源三郎↓	192 小林星照	壺音亭↓	199 二瓶小瓶
玉椿亭↓	160 堀江一章	国一↓	208 柳沢一棧	源紙園↓	184 浅川魚一	壺海楼↓	215 向田高輅
旭亭↓	049 柳沢春秀	国輔↓	007 柴山国村	萱室↓	132 河野守弘母	壺解楼↓	022 中村北磨
玉鵬亭↓	197 (像196) 岡部花雪	国村↓	115 前田喜多住	蘭糸亭↓	184 浅川魚一	壺会楼↓	099 向後道文
玉柳舎↓	163 佐々木晴海	久米吉↓	018 奥居庫住	兼治郎↓	083 土屋光村	壺街楼↓	066 菅野歌都住
	173 五十嵐春雄	庫住↓					

壺学楼↓	200 池田守好	五三郎↓	119 市田皮之	壺僊楼↓	172 深谷荀穂	壺珀園↓	244 伊都子
壺菅園↓	142 泰山信元	壺棧廬↓	227 権大僧都良賢	壺船楼↓	219 糸井冲風	木幡侯臣↓	008 津田琴繁
壺栢園↓	239 深沢保清	壺山楼↓	161 山田守雄	壺泉楼↓	250 星野静波	小林星照↓	192 小林星照
壺酣楼↓	118 堀田照景	小嶋笹根↓	126 小嶋笹根	壺藪園↓	126 小嶋笹根	壺倭園↓	018 奥居庫住
壺甌楼↓	155 池田本蔭	壺酒園↓	230 布女	五総園↓	125 龜山惟一	壺富園↓	189 浅見御世澄
壺漢亭↓	210 朽津守綾	壺瀉亭↓	088 菅谷広村	小宅文藻↓	178 小宅文藻	壺風楼↓	071 中嶋岸住
壺澗楼↓	225 市川山橋	壺秋園↓	035 柴山草村	小宅文藻女↓	179 美余子	壺調楼↓	183 角田一興
壺菊楼↓	094 河野久住	壺聚園↓	248 石原畝磨	壺潭楼↓	048 佐藤宣洲	壺漬楼↓	166 村木榮雄
壺喬楼↓	190 峯下蔭	壺周楼↓	077 松川富門	壺齋楼↓	207 池田幹久	壺芳園↓	135 甲田顕雄
壺興園↓	209 佐藤春舎	壺春園↓	007 柴山国村	壺昶園↓	046 橋本高広	壺縫園↓	169 青木一襲
壺業亭↓	015 勝田福寿	壺勝園↓	033 大矢都水	壺潮子↓	117 手塚魚来	壺豐楼↓	095 斎藤村並
壺玉園↓	137 田口守明	壺松翁↓	057 吉田長季	壺眺楼↓	102 安田岸住	駒之丞↓	048 佐藤宣洲
壺曲亭↓	116 船城予禄	壺祥亭↓	213 織子	壺碇楼↓	242 岩田一得	壺満楼↓	205 室田春郷
壺銀楼↓	107 鈴木音鷹	壺裳亭↓	013 宮下道守	壺汀楼↓	096 菅沢霞人	壺鳴園↓	233 初山茂平
鵠林↓	006 沙弥鵠林	壺常亭↓	008 津田琴繁	壺冬園↓	036 野口雪村	壺初亭↓	023 小森守冬
壺珪園↓	203 白子	壺嘯楼↓	016 森広蔭	壺濤園↓	060 渡辺浦風	小森守冬↓	080 丹沢折鶴
壺溪楼↓	103 斎藤清住	壺松楼↓	136 杵山高行	壺稻園↓	063 黒田豊秋	壺遊亭↓	214 青木広嶺
壺月堂↓	158 久智市住	壺翔楼↓	029 関口一岱	壺溥園↓	188 柳沢永俊	壺葉亭↓	143 米川躬鳥
壺絃楼↓	075 大友桐磨	壺丈楼↓	111 白石居村	吾道堂↓	159 高橋満香	壺謡楼↓	101 渡辺静
壺瑄庵↓	171 浅野鈴庭	壺晋廬↓	104 清野岸光	壺道楼↓	218 前原守行	壺翼園↓	051 高橋守的
壺耕園↓	193 高橋小田蒔	壺随園↓	014 小椋百枝	壺銅楼↓	228 金子躬次	壺楽亭↓	070 近春住
壺江園↓	222 深見三躬	壺水楼↓	194 中沢保世	琴繁↓	249 藤生高峯	壺栗園↓	062 栗原長秋
壺高窓↓	045 新井守村	小椋百枝↓	072 池田守崎	壺南園↓	100 佐藤梅早	壺笠楼↓	053 高野梅正
壺編亭↓	212 朽津綾竹	壺聖園↓	145 谷郷菊見	壺日園↓	040 江利川守枝	壺柳園↓	011 権律師了明
壺々山人↓	001 大垣市人	壺征楼↓	211 荒井文一	壺梅園↓	223 井上如流	壺竜園↓	049 柳沢春秀
壺々亭↓	003 黒河春村	壺清楼↓	157 浜田長喜	壺日園↓	025 星野系成	壺輪楼↓	106 高艸木高木
壺柴楼↓	067 大口安長	壺昔園↓	211 荒井文一	壺日園↓	025 星野系成	壺輪楼↓	030 浅川友乘
壺彩楼↓	229 藤生百蔭	壺潜亭↓	157 浜田長喜	壺日園↓	025 星野系成	壺輪楼↓	177 豊田守一
小左衛門↓	199 二瓶小瓶	壺川楼↓	157 浜田長喜	壺日園↓	025 星野系成	壺輪楼↓	177 豊田守一

惟一↓	125 亀山惟一	佐那伎廻屋↓	125 亀山惟一	篠原菊麿↓	031 篠原菊麿	春柴園↓	150 宮崎若村
五郎↓	007 柴山国村	左平↓	191 手計俊久	柴山岸村↓	151 柴山岸村	尊業法師↓	121 尊業法師
壺醪亭↓	028 植木守斗	左門↓	008 津田琴繁	柴山草村↓	035 柴山草村	春秋亭↓	077 松川富門
権右衛門↓	153 田口晴雄	三雨↓	226 吉橋三雨	柴山国村↓	007 柴山国村	春宵園↓	009 梶子
権大僧都良賢↓	227 権大僧都良賢	山橋↓	225 市川山橋	柴山国村弟↓	130 柴山里村	春抄園↓	159 高橋満香
近春住↓	070 近春住	三顧↓	224 外松三顧	柴山里村↓	130 柴山里村	春翠園↓	014 小相百枝
権兵衛↓	038 池田一瓶	三五亭↓	075 大友桐麿	治平↓	003 黒河春村	春窓園↓	052 石原豊村
権律師賢瓊↓	020 権律師賢瓊	三笑↓	220 深見蘆山	治兵衛↓	018 奥居庫住	春窓園↓	160 堀江一章
権律師了明↓	011 権律師了明	山多楼↓	105 糸井作良	嶋田延樹↓	206 嶋田延樹	峻洞↓	058 八卷舍住
【さ】	三平↓	三浦軒↓	015 勝田福寿	志摩守↓	123 物部照庭	淳朴園↓	195 中嶋有員
斎藤清住↓	103 斎藤清住	三躬↓	072 池田守崎	清水友俊↓	097 清水友俊	春野亭↓	140 大邑弘樹
斎藤昌二↓	056 斎藤昌二	三明舎↓	222 深見三躬	下田疇成↓	047 下田疇成	春融園↓	007 柴山国村
斎藤村住↓	129 斎藤村住	三有舎↓	153 田口晴雄	沙弥鵠林↓	006 沙弥鵠林	春邑園↓	082 道子
斎藤村並↓	095 斎藤村並	【こ】	097 清水友俊	楸園↓	137 田口守明	春綾園↓	037 林女
左衛門輔↓	085 吉田一朶	滋右衛門↓	022 中村北麿	秋香亭↓	035 柴山草村	春路園↓	098 向後吉正
酒井武暉↓	144 酒井武暉	治右衛門↓	094 河野久住	周助↓	137 田口守明	浄阿居士↓	165 浄阿居士
佐吉↓	164 北村春香	四季見↓	167 西村四季見	脩竹園↓	197(像) 岡部花雪	昌庵↓	063 黒田豊秋
左京↓	143 米川躬鳥	此君堂↓	090 大橋竹村	周兵衛↓	237 加藤蔭直	浄右衛門↓	105 糸井作良
作良↓	105 糸井作良	茂村↓	076 磯野茂村	秋野亭↓	141 小口弘一	定右衛門↓	157 浜田長喜
桜木廻屋↓	111 白石居村	繁子↓	133 繁子	守水亭↓	138 田口国一	常原亭↓	093 大森真柴
桜戸姫↓	132 河野守弘母	茂高↓	147 藤田茂高	手枕亭↓	039 品川夢成	昌二↓	053 高野梅正
佐々木晴海↓	163 佐々木晴海	静↓	101 渡辺静	春阿法師↓	081 春阿法師	庄七↓	167 西村四季見
笹根↓	126 小嶋笹根	静波↓	250 星野静波	春雨亭↓	134 倭文刀自	松寿園↓	116 船城予祿
佐二兵衛↓	095 斎藤村並	下蔭↓	190 峯下蔭	春栄堂↓	015 勝田福寿	松々園↓	081 春阿法師
佐藤梅早↓	100 佐藤梅早	七左衛門↓	025 星野系成	春恵法師↓	010 春恵法師	松々園室↓	009 梶子
佐藤宣洲↓	048 佐藤宣洲	七柏斎↓	021 新嶋高村	春花園↓	008 津田琴繁	少々妻廻屋↓	042 簀子
佐藤春舎↓	209 佐藤春舎	之通観↓	059 渡辺合瀬	春花園↓	012 栄子	庄治郎↓	056 斎藤昌二
里成↓	216 矢野里成	品川夢成↓	039 品川夢成	春興園↓	130 柴山里村	莊蔵↓	117 手塚魚米
里村↓	130 柴山里村						

— 90 —

浅池堂↓	011 権律師了明	霜後園↓	014 小相百枝	053 高野梅正	谷浜風↓	114 谷浜風
浅池堂室↓	012 栄子	宗三郎↓	049 柳沢春秀	193 高橋小田蒔	手計俊久↓	
浅哲庵↓	044 新井秋住	宗七郎↓	060 渡辺浦風	159 高橋満香	玉世↓	191 手計俊久
浅葵庵↓	102 安田岸住	桑樹園↓	187 新井玉世	051 高橋守的	為輔↓	187 新井玉世
浅桃庵↓	174 上山羽狩	双樹園↓	198 山田岐英	046 橋本高広	為業↓	091 大橋千村
浅濃庵↓	146 河合嶺雄	宗治郎↓	041 室田守郷	249 藤生高峯	太郎左衛門↓	026 宮下為業
善之輔↓	246 深沢大蔭	惣助↓	212 朽津綾竹	021 新嶋高村	檀園↓	097 清水友俊
浅波庵↓	024 向後河鳥	相生園↓	206 嶋田延樹	136 杵山高行	丹沢折鶴↓	215 向田高靱
浅白庵↓	123 物部照庭	宗善寺主竜海↓	081 春阿法師	182 都丸宝船	【ち】	080 丹沢折鶴
善八↓	029 関口一岱	素琴亭↓	145 谷郷菊見	152 田口興雄	近村↓	154 福田近村
浅舞庵↓	080 丹沢折鶴	外池真澄↓	236 外池真澄	138 田口国一	竹実園↓	020 権律師賢瓊
宣文↓	232 西村宣文	外松三顧↓	224 外松三顧	152 田口興雄	竹如亭↓	149 田中富村
浅畝庵↓	055 吉田芳季	村恭庵↓	193 高橋小田蒔	153 田口晴雄	竹葉舎↓	184 浅川魚一
浅芳庵↓	124 河野守弘	【た】	246 深沢大蔭	137 田口守明	智順↓	131 末生法師
浅茅庵↓	002 大垣守舎	大蔭↓	182 都丸宝船	139 竹内直磨	千村↓	091 大橋千村
浅墨庵↓	043 星野竜海	大海舎↓	142 泰山信元	武川守光↓	千元↓	004 土屋千元
船遊子↓	232 西村宣文	泰山信元↓	227 権大僧都良賢	武田夏海↓	千本↓	108 鈴木千本
千有子↓	039 品川夢成	大泉院主↓	137 田口守明	武暉↓	忠右衛門↓	154 福田近村
浅葉庵↓	242 岩田一得	多一郎↓	050 村田元成	竹村↓	忠左衛門↓	116 船城予禄
浅葉庵↓	114 谷浜風	大文字屋↓	194 中沢保世	唯一↓	忠蔵↓	171 浅野鈴庭
浅菜庵↓	241(像240) 星野末繁	大庵庵↓	024 向後河鳥	辰之助↓		051 高橋守的
浅菜庵↓	017 田中鳳管	大漁父↓	236 外池真澄	立人↓		182 都丸宝船
浅律庵↓	186 富田永世	太右衛門↓	106 高艸木高木	竜海↓		211 荒井文一
浅齡庵↓	094 河野久住	高木↓	106 高艸木高木	伊達庵↓	忠兵衛↓	074 仁科守久
浅嶺庵↓	105 糸井作良	高艸木高木↓	191 手計俊久	豎蔵↓	眺花園↓	103 斎藤清住
浅暦庵↓	100 佐藤梅早	高砂園↓	215 向田高靱	田中富村↓	池陽堂↓	005 茗溪法師
【そ】		高靱↓	019 多賀長住	田中富村↓	枕書堂↓	012 栄子
僧靱↓	120 僧靱	多賀長住↓	082 道子	田中鳳管↓	【こ】	008 津田琴繁
惣右衛門↓	239 深沢保清	多賀長住妻↓	谷郷菊見↓	145 谷郷菊見	津田琴繁↓	

土屋千元↓	004 土屋千元	東壺園↓	055 吉田芳季	191 手計俊久	中沢保世↓	194 中沢保世
土屋千元弟↓	083 土屋光村	東五園↓	060 渡辺浦風	033 大矢都水	長沢滿雅妻↓	244 伊都子
土屋光村↓	083 土屋光村	桐斎↓	017 田中鳳管	003 黒河春村	中嶋有員↓	195 中嶋有員
都筑某妻↓	204 仮名女	東西庵↓	117 手塚魚米	都北園↓	中嶋龜年↓	162 中嶋龜年
堤守文↓	168 堤守文	東西房↓	122 感返上	富五郎↓	中嶋岸住↓	071 中嶋岸住
常治郎↓	184 浅川魚一	東始園↓	053 高野梅正	富田永世↓	長季↓	057 吉田長季
角田秋久↓	054 角田秋久	東室亭↓	100 佐藤梅早	富村↓	長住↓	019 多賀長住
角田一興↓	183 角田一興	等正寺主誠応↓	005 茗溪法師	友俊↓	永俊↓	188 柳沢永俊
都丸宝船↓	182 都丸宝船	等正寺法嗣宮内卿↓	010 春恵法師	友之丞↓	永世↓	186 富田永世
連女↓	181 連女	東蔵↓	136 松山高行	友乘↓	中原某妻↓	037 林女
【て】		葵田舎↓	092 和合岸員	富山侯臣↓	中村北麿↓	022 中村北麿
蹄斎↓	084 有坂光隆	藤兵衛↓	180 武川守光		中村春樹↓	086 中村春樹
庭律庵↓	187 新井玉世	東辺舎↓	029 関口一岱		夏海↓	079 武田夏海
鐫川楼↓	184 浅川魚一	東野亭↓	007 柴山国村		七種園↓	035 柴山草村
手塚魚米↓	117 手塚魚米	稲葉園↓	238 村上秋照		波員↓	231 稻生波員
綴玉子↓	040 江利川守枝	稲葉亭↓	231 稻生波員	豊秋↓	櫛園↓	016 森広蔭
照蔭↓	113 花香照蔭	冬嶺亭↓	036 野口雪村	豊田守一↓	楠葉子↓	217 田中浜風
照景↓	118 堀田照景	都響園↓	001 大垣市人	登世太郎↓	【に】	
照庭↓	123 物部照庭	都橋園↓	002 大垣守舎	豊村↓	新嶋高村↓	021 新嶋高村
田見楼↓	239 深沢保清	都曲園↓	158 久智市住	鶏廼屋↓	仁科守久↓	074 仁科守久
伝司↓	113 花香照蔭	都錦園↓	024 向後河鳥	都柳園↓	西村四季見↓	167 西村四季見
田舎亭↓	216 矢野里成		032 北出春人	【ふ】	西村宣文↓	232 西村宣文
伝蔵↓	207 池田幹久		087 鈴木綾主	直↓	西村仲秋↓	170 西村仲秋
【と】		徳右衛門↓	218 前原守行	直八郎↓	日新斎↓	178 小宅文藻
藤花園↓	028 植木守斗	徳司↓	196 (像) 山田徳司	直磨↓	二瓶小瓶↓	199 二瓶小瓶
東感庵↓	041 室田守郷	徳治↓	196 (像) 山田徳司	仲秋↓	【ぬ】	
唐錦子↓	206 嶋田延樹	徳蔵↓	068 石河金由	長秋↓	布女↓	230 布女
東鶏夫↓	058 八卷舎住	篤廼門↓	074 仁科守久	長喜↓	【の】	
東郊舎↓	130 柴山里村	都光園↓	027 宮下梅侯	中沢細道男↓	農珉子↓	248 石原畝麿

野口雪村↓	036 野口雪村	花香照蔭↓	113 花香照蔭	一元↓	064 一元	船城予祿↓	116 船城予祿
信元↓	142 泰山信元	花雪↓	197(像196)岡部花雪	氷踊斎↓	048 佐藤宣洲	文一↓	211 荒井文一
範平↓	013 宮下道守	浜風↓	114 谷浜風	広蔭↓	016 森広蔭	富門↓	077 松川富門
【は】				弘一↓	141 小口弘一	芙蓉亭↓	152 田口興雄
梅侯↓	027 宮下梅侯	浜田長喜↓	157 浜田長喜	弘樹↓	140 大邑弘樹	文右衛門↓	058 八卷舍住
萩園↓	093 大森真柴	晴雄↓	153 田口晴雄	広嶺↓	214 青木広嶺	文左衛門↓	216 矢野里成
白雲堂↓	044 新井秋住	春雄↓	173 五十嵐春雄	広村↓	088 菅谷広村	文藻↓	178 小宅文藻
柏園↓	015 勝田福寿	春香↓	164 北村春香	【ふ】		文樓遊女↓	064 一元
白王↓	021 新嶋高村	春樹↓	086 中村春樹	楓園↓	111 白石居村		065 浅茅生
白蓋堂↓	010 春恵法師	春繁↓	069 三原春繁	深沢駒寸↓	176 深沢駒寸	【へ】	
薄斎↓	003 黒河春村	春住↓	070 近春住	深沢駒寸男↓	246 深沢大蔭	平右衛門↓	249 藤生高峯
白雀亭↓	076 磯野茂村	春種↓	112 村田春種	深沢大蔭↓	246 深沢大蔭	平司↓	148 赤荻了村
帛水亭↓	151 柴山岸村	春舍↓	209 佐藤春舍	深沢保清↓	239 深沢保清	兵内↓	043 星野竜海
白梅女↓	221 白梅女	春人↓	032 北出春人	深見三躬家↓	222 深見三躬	返上↓	047 下田嚙成
白風園↓	045 新井守村	晴海↓	163 佐々木晴海	深見三躬家↓	226 吉橋三雨	【ほ】	122 感返上
白葉↓	045 新井守村	春村↓	003 黒河春村	深見廬山妻↓	221 白梅女	芳雲樓↓	152 田口興雄
柏葉庵↓	171 浅野鈴庭	春好↓	073 山本春好	深見廬山男↓	222 深見三躬	茅檐樓↓	218 前原守行
白蓮舍↓	220 深見廬山	繁右衛門↓	126 小嶋笹根	深谷荊穗↓	172 深谷荊穗	鳳管↓	017 田中鳳管
馬見岡↓	051 高橋守的	半治郎↓	240(像241)新井細道	福嶋侯臣↓	074 仁科守久	茅菊園↓	203 白子
巴蓋亭↓	086 中村春樹	半兵衛↓	027 宮下梅侯	福成寺主↓	154 福田近村	茅曲園↓	212 朽津綾竹
橋本高広↓	046 橋本高広	【ひ】	243 青木守照	福田近村↓	011 権律師了明	芳桂園↓	141 小口弘一
巴人亭↓	001 大垣市人	櫛扇屋↓	067 大口安長	福寿↓	153 勝田福寿	芳錦園↓	156 秋間光弘
波静堂↓	087 鈴木綾主	彦三郎↓	225 市川山橋	藤生高峯↓	249 藤生高峯	望月館↓	156 秋間光弘
長谷川某女↓	189 浅見御世澄	彦太郎↓	004 土屋千元	藤生百蔭↓	229 藤生百蔭	望月亭↓	123 物部照庭
八十郎↓	080 丹沢折鶴	彦兵衛↓	093 大森真柴	藤田茂高↓	147 藤田茂高	茅虹園↓	240(像241)新井細道
八兵衛↓	156 秋間光弘	久住↓	094 河野久住	不醉↓	055 吉田芳季	鳳洲↓	046 橋本高広
八郎治↓	155 池田本蔭	皮之↓	119 市田皮之	二葉庵↓	191 手計俊久	茅秋園↓	020 権律師賢瓊
							213 織子

茅水園↓	048 佐藤宣洲	牡丹園↓	149 田中富村	道守猶子↓	027 宮下梅侯	村田春種↓	112 村田春種
茅星園↓	054 角田秋久	堀田照景↓	118 堀田照景	満香↓	159 高橋満香	村田元成↓	050 村田元成
茅清園↓	232 西村宣文	堀江一章↓	160 堀江一章	躬次↓	228 金子躬次	村並↓	095 斎藤村並
芳蔵↓	173 五十嵐春雄	本多山住↓	128 本多山住	光隆↓	084 有坂光隆	室田春郷↓	205 室田春郷
茅艸園↓	108 鈴木千本	【ま】	光弘↓	三津磨↓	245 青山三津磨	室田守郷↓	041 室田守郷
茅棕園↓	202 綾女	前田喜多住↓	115 前田喜多住	三津磨↓	083 土屋光村	室田守郷男↓	205 室田春郷
茅他園↓	211 荒井文一	前原守行↓	218 前原守行	光村↓	143 米川躬鳥	【め】	005 茗溪法師
宝田園↓	058 八卷舍住	真金↓	247 石原真金	躬鳥↓	146 河合嶺雄	茗溪法師↓	224 外松三顧
茅風園↓	210 朽津守綾	嶺園↓	234 須藤宗暁	嶺雄↓	190 峯下蔭	命明楼↓	048 佐藤宣洲
茅文園↓	089 新井守常	孫兵衛↓	026 宮下為業	峯越方男↓	190 峯下蔭	愛滝楼↓	
茅浦楼↓	219 糸井沖風	政右衛門↓	057 吉田長季	峯下蔭↓	227 権大僧都良賢	【も】	
芳野山人↓	227 権大僧都良賢	真柴↓	098 向後吉正	峯之↓	042 簀子	茂七↓	241(像240) 星野末繁
芳野亭↓	153 田口晴雄	舛廼屋↓	093 大森真柴	簀子↓	112 村田春種	文字楼↓	050 村田元成
茅遊園↓	155 池田本蔭	真澄↓	192 小林星照	簀治郎↓	069 三原春繁	持田某母↓	181 連女
茅輪園↓	217 田中浜風	又十郎↓	236 外池真澄	三原春繁↓	026 宮下為業	木公舎↓	147 藤田茂高
茅露園↓	078 梶山守海	又太郎↓	103 斎藤清住	宮崎若村↓	150 宮崎若村	本蔭↓	003 黒河春村
北塙↓	034 片桐北塙	松川富門↓	044 新井秋住	宮下為業↓	026 宮下為業	元祐↓	155 池田本蔭
牧斎↓	006 沙弥鵠林	松蔵↓	077 松川富門	宮下梅侯↓	027 宮下梅侯	元祐↓	031 篠原菊麿
北鉞子↓	088 菅谷広村	松原某女↓	061 大橋伊呂泥	宮下道守↓	013 宮下道守	元輔↓	234 須藤宗暁
北湊舎↓	006 沙弥鵠林	万太郎↓	230 布女	宮下道守猶子↓	027 宮下梅侯	元成↓	050 村田元成
墨用廬↓	001 大垣市人	【み】	150 宮崎若村	美余子↓	179 美余子	物部照庭↓	123 物部照庭
鉾廼屋↓	091 大橋千村	三上一臥↓	110 三上一臥	御世澄↓	189 浅見御世澄	茂平↓	233 初山茂平
星照↓	192 小林星照	幹久↓	207 池田幹久	【む】	013 宮下道守	初山茂平↓	233 初山茂平
星野糸成↓	025 星野糸成	未生法師↓	131 未生法師	無玄斎↓	215 向田高輅	百枝↓	014 小相百枝
星野静波↓	250 星野静波	道子↓	082 道子	向田高輅↓	238 村上秋照	百蔭↓	229 藤生百蔭
星野末繁↓	241(像240) 星野末繁	道文↓	099 向後道文	村木楽雄↓	166 村木楽雄	百潮↓	201 吉川百潮
星野竜海↓	043 星野竜海	三千尋↓	006 沙弥鵠林	村木楽雄父↓	165 浄阿居士	守明↓	137 田口守明
星野竜海男↓	250 星野静波	道守↓	013 宮下道守	村住↓	129 斎藤村住	守綾↓	210 朽津守綾
細道↓	240(像241) 新井細道					守海↓	078 梶山守海

守枝↓	040 江利川守枝	安五郎↓	072 池田守崎	有隣↓	011 権律師了明	蘭室↓	146 河合嶺雄
守雄↓	161 山田守雄	安治郎↓	067 大口安長	雪村↓	036 野口雪村	【り】	140 大邑弘樹
守一↓	177 豊田守一	安田岸住↓	102 安田岸住	夢成↓	039 品川夢成	利右衛門↓	215 向田高靱
守崎↓	072 池田守崎	安長↓	067 大口安長	湯本五百秋↓	175 湯本五百秋	陸右衛門↓	226 吉橋三雨
守郷↓	041 室田守郷	保世↓	194 中沢保世	【よ】	127 菅野楽人	利七↓	044 新井秋住
守常↓	089 新井守常	八十八↓	247 石原真金	与市↓	068 石河金由	律調子↓	107 鈴木音鷹
森鶴村男↓	016 森広蔭	柳沢一棧↓	208 柳沢一棧	陽玉園↓	247 石原真金	利八↓	055 吉田芳季
守照↓	243 青木守照	柳沢永俊↓	188 柳沢永俊	鑑斎↓	250 星野静波	利兵衛↓	081 春阿法師
守斗↓	028 植木守斗	柳沢春秀↓	049 柳沢春秀	要輔↓	146 河合嶺雄	竜海↓	224 外松三顧
守久↓	074 仁科守久	柳沢春秀弟↓	208 柳沢一棧	与作↓	201 吉川百潮	隆朔↓	001 大垣市人
守弘↓	124 河野守弘	矢野里成↓	216 矢野里成	吉川百潮↓	055 吉田芳季	隆山↓	208 柳沢一棧
森広蔭↓	016 森広蔭	八巻舍住↓	058 八巻舍住	芳季↓	085 吉田一朶	竜枝園↓	149 田中富村
守文↓	168 堤守文	山住↓	128 本多山住	吉田一朶↓	057 吉田長季	竜碩↓	220 深見廬山
守冬↓	023 小森守冬	山田岐英↓	198 山田岐英	吉田長季↓	055 吉田芳季	竜眼閣↓	070 近春住
守瓶↓	155 池田本蔭	山田徳司↓	196(像) 山田徳司	吉田芳季↓	057 吉田長季	柳々館↓	227 権大僧都良賢
守的↓	051 高橋守的	山田守雄↓	161 山田守雄	吉田吉利二男↓	055 吉田芳季	良賢↓	118 堀田照景
守路↓	015 勝田福寿	山田舎↓	047 下田疇成	吉田吉利男↓	226 吉橋三雨	良輔↓	148 赤荻了村
守光↓	180 武川守光	山滝水↓	196(像) 山田徳司	吉橋三雨↓	096 菅沢霞人	了村↓	011 権律師了明
守村↓	045 新井守村	山本春好↓	073 山本春好	霞人↓	143 米川躬鳥	了明↓	188 柳沢永俊
守舎↓	002 大垣守舎	【ゆ】	045 新井守村	吉正↓	098 向後吉正	緑毛斎↓	181 連女
守行↓	218 前原守行	勇七↓	232 西村宣文	米川躬鳥↓	070 近春住	旅月堂↓	177 豊田守一
守好↓	200 池田守好	猶七郎↓	228 金子躬次	米沢侯臣↓	116 船城予禄	鱗岡↓	170 西村仲秋
【や】		雄次郎↓	090 大橋竹村	予禄↓	166 村木楽雄	林左衛門↓	037 林女
弥一郎↓	106 高艸木高木	雄蔵↓	188 柳沢永俊	【ら】	069 三原春繁	林女↓	
弥五右衛門↓	176 深沢駒寸	勇之丞↓	159 高橋満香	楽雄↓	127 菅野楽人	麗沖子↓	048 佐藤宣洲
弥五左衛門↓	152 田口興雄	祐之助↓	110 三上一臥	楽舎亭↓	208 柳沢一棧	玲々舎↓	107 鈴木音鷹
弥治兵衛↓	070 近春住	有梅庵↓	083 土屋光村	楽人↓	038 池田一瓶	連栄亭↓	203 白子
安右衛門↓	190 峯下蔭	勇馬↓	076 磯野茂村	蘭園↓		連玉亭↓	232 西村宣文
保清↓	239 深沢保清			鸞斎↓			

倭文家↓	045 新井守村
倭文刀自↓	134 倭文刀自
渡辺光俊男↓	059 渡辺合瀬
渡辺静↓	101 渡辺静
渡辺合瀬↓	059 渡辺合瀬
渡辺浦風↓	060 渡辺浦風
和介↓	248 石原畝磨
業増↓	159 高橋満香
和合岸員↓	092 和合岸員
若村↓	150 宮崎若村
若草庵↓	241 (像 240) 星野末繁
隈水子↓	059 渡辺合瀬
【わ】	
六花園↓	178 小宅文藻
廬山↓	220 深見廬山
六兵衛↓	028 植木守斗
六蔵亭↓	023 小森守冬
芦鶴亭↓	019 多賀長住
潦亭↓	155 池田本蔭
【ろ】	
連葉庵↓	121 蓴菜法師
連草亭↓	069 三原春繁
連山亭↓	233 初山茂平
簾作↓	234 須藤宗暁
廉斎↓	111 白石居村
	139 竹内直磨